

事務事業評価調書

事務事業名	保育料等滞納対策事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市立教育・保育施設条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	保育料等の滞納整理に係る事務。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	滞納保育料等の減少。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育料自己負担の徹底と公平性の確保。また、安定的な保育事業の運営。												
		<p>年々増加する保育料等の滞納者に対し、臨時雇用員(徴収員)を雇用し、滞納整理業務を行う。その中でも電話催告については、現年度の未納者・滞納者への早期着手による徴収率の向上が期待され、それにより翌年度への滞納繰越を減らしていくことができる。また、財産調査については給与照会による会社等を通じた催告の期待もたれ、納付への効果が期待できる。更に財産調査の結果によっては滞納処分の実行や「滞納処分の執行停止」等の不納欠損処理への判断をスムーズに行うことができ、過年度徴収率の向上が期待できる。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,205	1,908	2,203	1,935	2,224							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		2,620	2,306	2,621	2,353	2,633							
		特定財源(C)		9	8	9	8	10							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	9	8	9	8	10							
		市負担(D)		2,611	2,298	2,612	2,345	2,623							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	2,611		2,298	2,612	2,345	2,623									
財源計(C+D)		2,620	2,306	2,621	2,353	2,633									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	催告の延べ件数	目標値	(単位:箇所)	1,261.00	1,263.00	1,044.00
			実績値	(単位:箇所)	1,314.00	404.00	/	
		達成度(%)			104.2	32.0		
	目標値の積算方法	滞納者児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.75		5.82
				一般財源(単位:千円)		1.75	5.80	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	(平成21年度の実績額+臨時雇用員の費用)以上の保育料滞納金額の徴収	目標値	(単位:円)	7,627,280.00	7,922,280.00	8,065,280.00
			実績値	(単位:円)	16,103,680.00	14,602,530.00	/	
		達成度(%)			211.1	184.3		
	目標値の積算方法	臨時雇用員の年間費用	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		臨時雇用員の活用により、これまで実施できなかった滞納整理業務をきめ細かく行うことができ、徴収率が向上した。また、臨時雇用員の人件費以上の効果が現れており、継続して事業を行う必要があると考える。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	保育料等滞納対策事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	284				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	284
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は年々増加する滞納保育料等の減少と徴収率向上を図るための事業であり、事業開始前年度の平成21年度と比較し、現年度、過年度の両方において保育料及び主食給食費の徴収率が上昇する効果があった。さらに平成10年度から年々増加していた不納欠損額を差し引いた収入未済額についても、平成21年度の約1億3350万円から平成26年度の約1億300万円まで減少に転じるなど、大きな効果をあげている。</p> <p>しかし、依然約1億円を超える滞納額があり、保育料自己負担金の公平・公正性及び安定的な保育事業の提供に係る財源確保の観点から、今後も滞納整理を進めていくことが必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	私立保育所整備費助成事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	対象経費の見直し等											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市私立保育所整備事業助成金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	認可保育所の創設・増改築等を行う社会福祉法人												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	認可保育所の創設・増改築等												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	待機児童の解消を図る													
(7)	事業概要	認可保育所の創設・増改築等を行う社会福祉法人に対し、市が建設費等の一部を助成し、保育所の受け入れ枠の増加を図るほか、園舎等の環境を改善し、良好な保育環境を維持する。なお、平成27・28年度の2か年事業で山田・千里丘地域の長野東で私立保育所の増築を実施。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		19,620	66,679	183,105	36,704	28,840							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	83	80	836	836	817						
		総事業費(A+B)		19,703	66,759	183,941	37,540	29,657							
		特定財源(C)		13,080	44,452	162,760	32,626	25,636							
		(内訳)	国	0	0	162,760	32,626	25,636							
			府	13,080	44,452	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		6,623	22,306	21,181	4,914	4,021							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	6,623		22,306	21,181	4,914	4,021									
財源計(C+D)		19,703	66,758	183,941	37,540	29,657									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	社会福祉法人成光苑										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 私立保育所の箇所数 (私立保育所から移行した認定こども園を含む)	目標値	(単位:箇所)	28.00	28.00	31.00	
			実績値	(単位:箇所)	28.00	29.00		
			達成度(%)		100.0	103.6		
	目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく確保が必要な私立保育所の箇所数(私立保育所から移行した認定こども園を含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,384.32	1,294.48	
				一般財源(単位:千円)		796.68	169.45	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 保育所等利用児童数(翌年4月1日現在)	目標値	(単位:人)	5,379.00	5,399.00	5,479.00	
			実績値	(単位:人)	5,775.00	6,085.00		
			達成度(%)		107.4	112.7		
	目標値の積算方法	増加定員の2/3の利用児童数増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.56	6.17	
				一般財源(単位:千円)		3.86	0.81	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成29年度までに待機児童を解消するための確保方策を策定し、計画的に私立保育所等の整備を進めていく必要があることから、待機児童解消アクションプランにより、本事業による保育所等の整備を進め、待機児童の解消を進めていく。 また、私立幼稚園から認定こども園への移行を進める必要があることから、本事業の対象を私立幼稚園から認定こども園に移行する学校法人に対しても対象とする必要があることから、要綱の改正等を含め、事業の拡充を進める。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立保育所整備費助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	285				

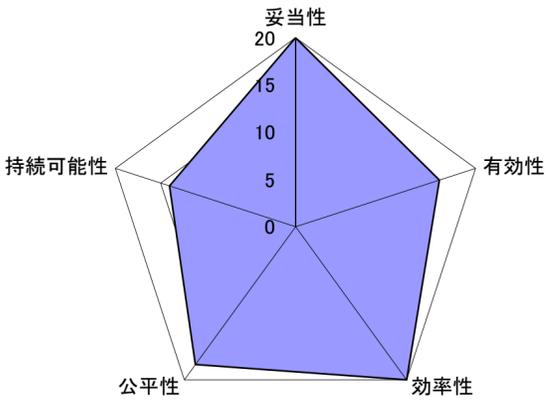
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	285
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画的な私立保育所等の整備を進めることで、利用児童数の増加を促し、待機児童数の減少が見込めるため、保育所整備事業については待機児童対策としての効果があり、一定の成果を挙げているところである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	病児・病後児保育事業(委託)				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正内容	利用対象者の変更に伴う改正。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市病児・病後児保育事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	病氣中または病氣回復期で集団保育が困難な児童												
		目標(どういう状態にしたいのか)	対象児童を一時的に預かる。												
		結果(どのような効果が得られるのか)	保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な発達を促す。												
(7)	事業概要	<p>保育園児等で、病氣中または病氣の回復期ではあるが集団保育の困難な期間、病児・病後児保育室で一時的にその児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な発達に寄与する。藤白台1丁目、垂水町3丁目の2か所で委託実施しており、利用料は1人1日あたり2,000円で、午前8時から午後7時まで開室している。 (なお、千里丘西の1か所は補助で実施している。)</p>													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	8	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		58,356	62,477	70,359	49,006	63,296							
		人件費	職員数	人	0.12	0.12	0.12	0.10	0.12						
			総額(B)	千円	996	954	1,003	836	981						
		総事業費(A+B)		59,352	63,431	71,362	49,842	64,277							
		特定財源(C)		21,144	23,664	23,448	22,496	29,346							
		(内訳)	国	0	0	11,724	11,270	14,681							
			府	21,144	23,664	11,724	11,226	14,665							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		38,208	39,767	47,914	27,346	34,931							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	38,208		39,767	47,914	27,346	34,931									
財源計(C+D)		59,352	63,431	71,362	49,842	64,277									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	えちごクリニック 越後茂之										
				②	特定医療法人ダイワ会 大和病院										
				③	一般社団法人 吹田市医師会										
		主な委託内容		病児・病後児保育事業の実施を委託											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 病児・病後児保育室の延べ利用者数(日数)	目標値	(単位:日)	3,437.00	5,921.00	5,825.00	
			実績値	(単位:日)	2,104.00	2,408.00		
			達成度(%)		61.2	40.7		
	目標値の積算方法	吹田市子ども・子育て支援事業計画における量の見込み	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		30.15	20.70	
				一般財源(単位:千円)		18.90	11.36	
	②	指標内容	病児・病後児保育室の実利用者数	目標値	(単位:人)	401.00	539.00	594.00
実績値				(単位:人)	539.00	594.00		
達成度(%)				134.4	110.2			
目標値の積算方法		前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		117.68	83.91	
				一般財源(単位:千円)		73.78	46.04	
(2) 成果指標	①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	急な病気で、保育園等に登園できない児童を預かることで、保護者の就労を支援する。			達成状況	保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、集団保育の困難な期間、一時的にその児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援している。ニーズ調査の結果からも、近年の就労形態の多様化や女性の社会進出、子どもを産んでも働き続けられるニーズに応えるものとして必要不可欠な施設である。</p> <p>また、吹田市子ども・子育て支援事業計画では、平成31年度までの取り組み目標として、病児・病後児保育室を市内で5か所整備としており、引き続きニーズが高い地域で新たに開設できるよう検討を進める必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	病児・病後児保育事業(委託)	事業区分	その他
事務事業番号	00286				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00286
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ニーズ調査の分析・結果を踏まえた吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後、JR以南地域、片山・岸部地域に1か所、千里山・佐井寺地域に1か所を新たに整備する必要がある。しかし、この病児保育の実施は、医師との連携が必要であり、専用のスペースの確保が難しいことや、感染症の流行などに左右されキャンセルも多く安定的な経営は難しいために、事業実施主体を確保することが課題である。今後、利用者数を見極めながら、担い手を検討していく。</p> <p>また、既存の病児・病後児保育室が円滑・適正に運営できているかを検証し、長期的に市民サービスが提供できる体制を整備していくことや、各病児・病後児保育室が連携し合って、より多くの児童を受け入れる環境を整備するため、研修会の開催や、保育士の質の向上のための研修に参加しやすい体制を整備する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	通常保育事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和26年度	改正内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	児童福祉法、吹田市子ども・子育て支援法施行条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	保育を必要とする児童(乳幼児)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保護者の労働又は疾病等の事由により、保育を必要とする児童を公立保育所において保育する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の就労を支援し、児童を心身ともに健やかに育成する。													
(7)	事業概要	児童福祉法の規定に基づき、児童の保護者の労働又は疾病等の事由により、その監護すべき児童が保育を必要とする場合に、当該児童の心身の健全な育成を図るため、公立保育所(全18か所)において保育を実施する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,010,213	952,605	961,322	952,380	967,565							
		人件費	職員数	人	272.77	287.87	285.77	279.87	290.77						
			総額(B)	千円	2,263,991	2,287,703	2,386,752	2,337,475	2,375,591						
		総事業費(A+B)		3,274,204	3,240,308	3,348,074	3,289,855	3,343,156							
		特定財源(C)		620,975	650,650	628,694	676,353	635,949							
		(内訳)	国	1,900	8,274	7,826	27,937	7,826							
			府	11,673	18,324	5,746	25,860	5,746							
			その他	607,402	624,052	615,122	622,556	622,377							
		市負担(D)		2,653,229	2,589,658	2,719,380	2,613,502	2,707,207							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	2,653,229		2,589,658	2,719,380	2,613,502	2,707,207									
財源計(C+D)		3,274,204	3,240,308	3,348,074	3,289,855	3,343,156									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社 関西環境センター										
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 利用児童数(月ごとの利用児童数の合計)	目標値	(単位:人)	25,344.00	25,344.00	25,344.00	
			実績値	(単位:人)	26,628.00	26,921.00		
			達成度(%)		105.1	106.2		
	目標値の積算方法	利用定員2112人×12月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		121.69	122.20	
				一般財源(単位:千円)		97.76	97.08	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 4月1日現在実利用児童数	目標値	(単位:人)	2,202.00	2,275.00	2,367.00	
			実績値	(単位:人)	2,195.00	2,236.00		
			達成度(%)		99.7	98.3		
	目標値の積算方法	保育を必要とする児童数(利用児童数+公立を第1希望にしている待機児童数)(4月1日現在)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,476.22	1,471.31	
				一般財源(単位:千円)		1,185.96	1,168.83	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		保育所の利用希望者は増加しており、今後もこの傾向は続く予想される。また、保育所の待機児童対策として、公立・私立での定員を超えての受入れなどにより待機児童解消に向けて取り組んでおり、引き続き地域のニーズに応じた利用枠を設定しつつ、本事業を継続して実施していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	通常保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00289				

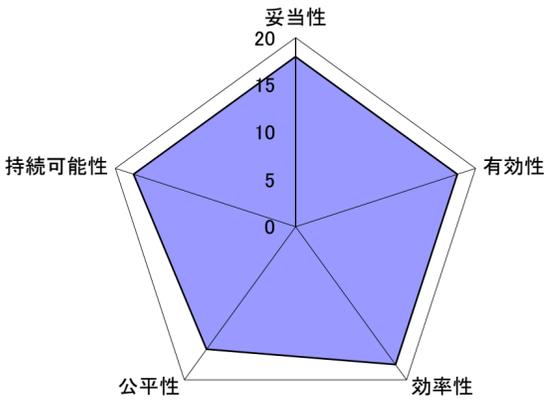
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00289
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>核家族化や女性の社会参加(就労)が進む中で、保育を利用できない待機児童が増加していて、公立私立での定員を超えての受け入れや私立保育所の新設・増築などにより待機児童の解消に向けて努力しているところである。その中で、これまで培ってきた公立保育所の役割やあり方を踏まえ、今後の子育て支援事業や保育需要など様々な課題を整理・検討し、市民サービスの向上につながるよう、一部を民営化したうえで引き続き公立保育所の運営に取り組んでいく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	緊急一時保育事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市子ども・子育て支援法施行細則													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	一時的に保育の実施を要する児童												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保護者等に緊急事由が生じ、家庭での保育が困難な場合に児童の保育を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の養育の負担軽減を図る。													
(7)	事業概要	児童を養育している家庭の保護者が、疾病、出産、看護等の緊急事由により、家庭における養育が一時的に困難となった場合に、就学前の児童を保育所で一定期間預かるため、利用定員とは別に緊急一時枠(定員外)を確保し、保育の実施を行う。一事由につき利用期間は原則として2か月。対象年齢は0歳から5歳までとし、公立保育所にて実施。(ただし、協議のうえ私立保育所等において実施する場合もある。)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		110	0	110	0	110							
		人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
			総額(B)	千円	830	0	836	0	817						
		総事業費(A+B)		940	0	946	0	927							
		特定財源(C)		110	0	110	0	110							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	110	0	110	0	110							
		市負担(D)		830	0	836	0	817							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	830		0	836	0	817									
財源計(C+D)		940	0	946	0	927									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	緊急一時利用児童の受入れ数	目標値	(単位:人)	79.00	65.00	/
			実績値	(単位:人)	79.00	65.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	緊急一時利用申込み児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00		0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	緊急一時利用希望児童の保育と保護者の負担軽減による児童福祉の向上			達成状況	平成26年度は79人(延べ2165日)、平成27年度は65人(延べ1906日)を受入れることで児童福祉の向上に努めた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		費用対効果の判断が難しい事業だが、緊急事由として出産による入院のケースが多く、年度当初で市内にある保育所の利用定員は一杯になり、年度途中での利用が困難な現状では、公立保育所で緊急枠を確保し、一時的に保育を実施することで、子どもを産みやすい環境が整備できるため、本事業を継続して実施していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	緊急一時保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00290				

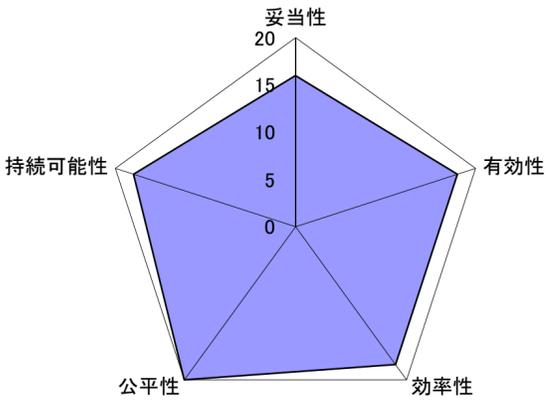
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00290
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保護者が出産や病気で入院することは、どの世帯でもいつでも起こりうることであるが、私立保育所は常時利用定員まで児童を受け入れていて、緊急的な利用は難しいため、公立保育所で通常の利用定員枠を超えて緊急の枠を確保している。 なお、平成27年度は通常の保育士配置の中で対応できたため、臨時雇用員配置に伴う賃金は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所施設管理事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度		改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公立保育所												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公立保育所の経常的な施設維持管理												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育環境の維持・改善													
(7)	事業概要	公立保育所(全18か所)の管理・運営に伴う光熱水費等の経常的な経費の執行、施設修繕や設備保守点検・給食室清掃業務委託を行い、適切な施設の維持管理を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		112,646	118,312	127,080	130,299	132,229							
		人件費	職員数	人	19.05	19.05	19.05	19.05	19.05						
			総額(B)	千円	158,115	151,391	159,106	159,106	155,639						
		総事業費(A+B)		270,761	269,703	286,186	289,405	287,868							
		特定財源(C)		18,271	23,755	21,911	23,700	23,896							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	18,271	23,755	21,911	23,700	23,896							
		市負担(D)		252,490	245,947	264,275	265,705	263,972							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	252,490		245,947	264,275	265,705	263,972									
財源計(C+D)		270,761	269,702	286,186	289,405	287,868									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	北大阪清掃株式会社										
				②	大阪瓦斯株式会社エネルギー事業部										
				③	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター										
		主な委託内容		廃棄物処理、GHP、除草・剪定業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	公立保育所施設数	目標値	(単位:か所)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:か所)	18.00	18.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	経常的な維持管理が必要な公立保育所施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,983.50	16,078.06		
				一般財源(単位:千円)	13,663.83	14,761.39		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容		目標				
	②	成果内容	公立保育所の適切な施設管理及び事業運営	達成状況	利用児童の処遇改善及び児童福祉の向上			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		公立保育所の経常的な施設維持管理であるので、抜本的な廃止・縮小は不可能だが、光熱水費や消耗品・備品の購入については保育園に節約の意識を持つよう指導し、備品についても、できる限り更新せず、原則修理で対応し、経費節減に努めながら本事業を継続実施する。 また、施設長寿命化の観点から、保育室の床・内装・建具や遊具等の維持補修を計画的に実施していく必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00291				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00291
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>保育所施設は、経年による老朽化が著しく、日々修繕が必要な箇所が発生している。建設以来、大規模な修繕を行っていない園も多く、床などの内装や外観の損傷が目立っているのに加え、屋上防水機能が働いていないこともあり、雨漏りなどで園児の保育に悪影響が及んでいる。備品関係についても老朽化が進み、何度も同じ備品を修繕し使用している状況である。今後も、園児の保育に支障をきたすことがないように対応するには、施設長寿命化の観点からも、保育室の維持補修を計画的に実施していく必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所耐震補強事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	耐震改修促進法・市有建築物の耐震化促進計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公立保育所(2階建て、500㎡以上)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公立保育所の耐震診断を実施し、必要があれば耐震補強工事を実施。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	公立保育所の耐震補強。												
		耐震改修促進法により、保育所も指導の対象となっている。近年、大規模な地震が多発しており、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況であるため、耐震診断を行い、耐震補強の必要性を判断し、必要な場合は耐震補強工事を実施する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		68,057	49,588	65,327	52,777	22,387							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		68,140	49,668	65,411	52,861	22,469							
		特定財源(C)		8,696	7,019	8,165	7,150	2,060							
		(内訳)	国	8,696	7,019	8,165	7,150	2,060							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		59,444	42,648	57,246	45,711	20,409							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	59,444		42,648	57,246	45,711	20,409									
財源計(C+D)		68,140	49,667	65,411	52,861	22,469									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社エル設計										
				②	株式会社アルファ建設設計事務所										
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				耐震診断・耐震設計業務							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 耐震診断実施施設数	目標値	(単位:か所)	2.00	2.00	1.00
			実績値	(単位:か所)	2.00	2.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	市有建築物の耐震化促進計画による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		24,834.50	26,430.50
				一般財源(単位:千円)		21,325.00	22,855.50
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) 困難な場合		①	指標内容 耐震診断実施済施設数	目標値	(単位:か所)	15.00	15.00
	実績値			(単位:か所)	13.00	15.00	
	達成度(%)			86.7	100.0		
	目標値の積算方法	耐震改修促進法に基づく指導対象施設	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,820.69	3,524.07
				一般財源(単位:千円)		3,280.77	3,047.40
	②	指標内容 耐震基準を満たしている園舎の割合	目標値	(単位:か所)	18.00	18.00	18.00
実績値			(単位:か所)	12.00	14.00		
達成度(%)			66.7	77.8			
目標値の積算方法		耐震基準を満たしている園舎の数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,139.08	3,775.79	
			一般財源(単位:千円)	3,554.17	3,265.07		
(3) 困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業については、園児の安全な保育に必要な不可欠であるため、業務仕様や入札等のできる限り節減に努めながら、従来どおり計画的に継続実施する。</p> <p>なお、耐震改修促進法の対象外である平屋の山田保育園についても、乳幼児の安全を確保するために平成28年度耐震診断を実施する。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所耐震補強事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00292				

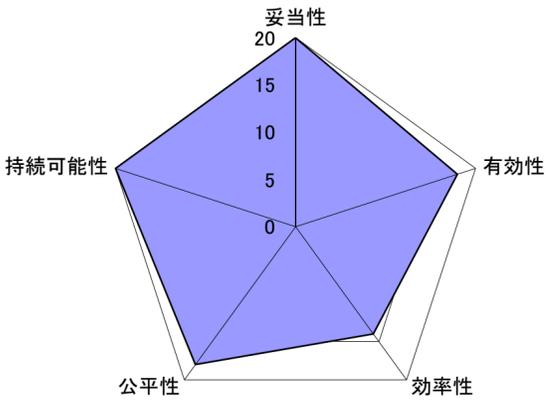
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00292
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>妥当性: 20 有効性: 15 効率性: 10 公平性: 5 持続可能性: 5</p>		
(3)現状分析	<p>近年、大規模な地震が多発しており、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況である。特に、建築物の耐震改修については、「社会全体の国家的な緊急課題」と位置づけられている。公立保育所についても、耐震診断を計画的に順次実施し、設計・改修の必要性の有無を判断する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所エアコン更新事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	公立保育所											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	エアコンの室内機・室外機の更新												
(7) 事業概要	保育所のエアコン(保育室はガス式冷暖房、遊戯室は電気式冷暖房、給食室はスポットクーラー)は、経年による老朽化が著しく、故障が相次いでいるため計画的に更新している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,180	6,976	8,258	7,609	16,343							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
		総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
	総事業費(A+B)		6,263	7,056	8,342	7,693	16,425							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		6,263	7,055	8,342	7,693	16,425							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		6,263	7,055	8,342	7,693	16,425								
財源計(C+D)		6,263	7,055	8,342	7,693	16,425								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	保育室のエアコンの更新(施設数)	目標値	(単位:か所)	2.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:か所)	1.00	2.00		
		達成度(%)		50.0	100.0			
	目標値の積算方法	保健室・0~1歳児室を優先し、次に2~5歳児室を更新するとして、毎年度2か所ずつの更新(18年後に更新)が適当と考える。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,057.00	3,846.50	
				一般財源(単位:千円)		7,057.00	3,846.50	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容			目標			
	②	成果内容	空調設備(機器)の更新		達成状況	適切な保育環境の維持管理及び利用児童の処遇改善		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		本事業を、保育所の経常的な維持管理を目的とする施設管理事業から切り離し、エアコン更新事業として位置づけることで、一体的に管理することができ、事務の省力化を図りながら保育環境等の整備に努めていく。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所エアコン更新事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00293				

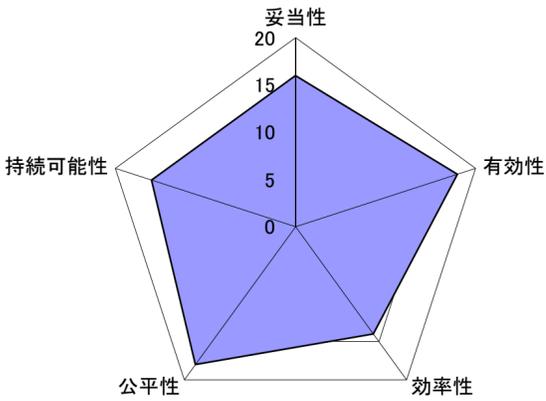
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00293
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育室のエアコンは、設置後10年以上経過しており、使用頻度が増す夏・冬の時期に故障することが多い。夏場での保育室エアコンの故障は、室内の温度は30度以上になり、園児の健康面にも悪影響を及ぼし、また修理にも平均で1週間～10日間の期間を必要とするため、園児の保育を行う上で支障をきたすことがある。</p> <p>また、給食室エアコンについても、夏場で使用ができないときは室内の温度が40度以上になり、調理員の健康を害し、調理環境の衛生面への悪影響も懸念されるため、計画的に更新していくことが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所改修事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和63年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公立保育所												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公立保育所の施設改善												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育環境の改善													
(7)	事業概要	公立保育所施設の経年劣化及び老朽化に伴う臨時的な整備工事(屋上防水、外壁改修等)を実施する(部分改修を含む)。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	3	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,939	26,397	75,753	63,013	192,867							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	164						
		総事業費(A+B)		31,022	26,477	75,837	63,097	193,031							
		特定財源(C)		0	26,397	0	63,013	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	26,397	0	63,013	0							
		市負担(D)		31,022	79	75,837	84	193,031							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	31,022		79	75,837	84	193,031									
財源計(C+D)		31,022	26,476	75,837	63,097	193,031									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	改修実施施設数	目標値	(単位:か所)	2.00	2.00	7.00
			実績値	(単位:か所)	1.00	2.00	/	
		達成度(%)		50.0	100.0			
	目標値の積算方法	緊急に(屋上防水・外壁)改修の必要がある施設	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26,478.00	31,548.50		
				一般財源(単位:千円)	80.00	42.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公立保育所の適切な施設管理			達成状況	適切な保育環境の維持管理及び利用児童の処遇改善	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>予算の削減・事業の効率化、保育園への負担を考慮し、できるだけ耐震補強工事と同時進行で行うなど工夫しながら本事業を継続実施する。</p> <p>また、公共施設最適化推進委員会において、「来年度に更新が必要」と判断された施設については緊急度が高いため、優先的に実施していく。</p> <p>なお、公共施設最適化推進委員会で判断されない床等の内装についても計画を立てて実施していく。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00294				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00294
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	8	公平性	10	持続可能性	12
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	8														
公平性	10														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>建設以来、大規模修繕未実施施設が6か所あり、また大規模修繕を実施して10年以上経過している施設も多いため、経年・老朽化による劣化・損傷が激しく、屋上防水機能・床・外壁・内装など様々な面で、大規模な改修が必要な状況である。</p> <p>平成22年度から屋上防水・外壁改修工事を計画的に実施しているが、保育室の床等の劣化も著しく、園児が負傷するケースも発生しているため、施設長寿命化の観点からも、大規模修繕を計画的に実施していくことを検討する必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所防犯警備協力員配置事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	有償ボランティアから無償ボランティアに変更したことに伴う改正											
(2) 直近の改正	平成15年度													
(3) 根拠法令等	吹田市防犯警備協力員配置事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	41							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	公立保育所(全18か所)を利用する児童											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	利用児童の安全確保・処遇改善のために防犯警備協力員を配置する。												
(7) 事業概要	公立保育所(全18か所)における児童の安全対策の充実を図るため、保育所の正門における立哨及び所内の巡回等、児童の安全を守る警備活動に協力する防犯警備協力員を配置する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8	6	7	7	7							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
		総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
	総事業費(A+B)		91	86	91	91	89							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		91	85	91	91	89							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		91	85	91	91	89								
財源計(C+D)		91	85	91	91	89								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	無償ボランティア												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	防犯警備協力員配置施設数	目標値	(単位:か所)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:か所)	1.00	1.00		
		達成度(%)		50.0	50.0			
	目標値の積算方法	18か所(公立全施設)を最終目標として、当面の目標はもう1か所増やす。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	86.00	91.00		
				一般財源(単位:千円)	86.00	91.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00		0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	利用児童の安全確保			達成状況	児童福祉の向上	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>現在、いずみ保育園において3人交代制で、火曜日から木曜日の午後4時から午後5時まで配置している。平成25年度は5人交代制で月曜日から金曜日配置していたが、平成26年度は4人で月曜日から木曜日配置と年々無償ボランティアの人数が減っている。</p> <p>公立保育所のうち1か所での実施にとどまっているが、目標としては「地域の子どもは地域で守る」ことを基本とし、長期的には、吹田市シルバー人材センターへ事業委託により実施している安全対策事業を縮小し、地域住民による防犯警備協力員を配置して、保育所の安全対策の充実を図っていきたい。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所防犯警備協力員配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00295				

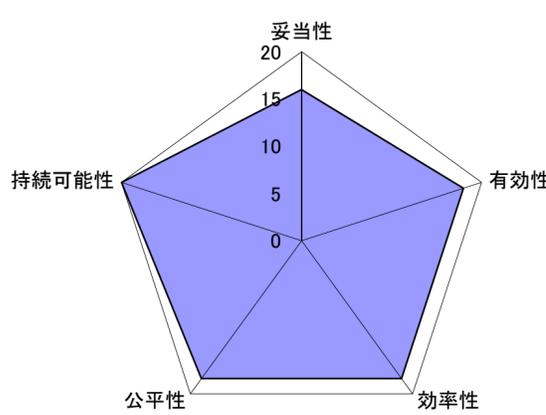
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				
		評価点合計 (100点満点)	90			

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00295
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業委託している安全対策事業とあわせて分析した結果、「地域の子どもは地域で守る」ことを基本と考えるが、地域住民による防犯警備協力員のみでは常時監視する人員を確保することが困難であるため、いままぐの完全な事業の移行は難しい。そのため、本事業については、事業経費は協力員の防寒用カイロ購入費と傷害保険(ボランティア保険)掛金の7千円であるが、保育園と地域との関わり合いの重要性、特に高齢者のボランティアの園児との交流の意義を考慮し、事業経費は現状維持としつつ、今後も協力員の拡大に向けた働きかけを保護者や地域住民に対し行っていくこととする。ただし、決まった時間帯での無償ボランティアでは限界がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所安全対策事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	41							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公立保育所(全18か所)を利用する児童												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	利用児童の安全の確保・処遇改善のために安全管理員を配置する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育所における安全対策の充実が図られ、園児が安心して保育所生活を送ることができる。													
(7)	事業概要	公立保育所(全18か所)に地域の人材を活用した安全管理員を配置し、不審者の侵入等を監視することにより、保育所における安全対策の充実を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		24,065	24,064	24,147	24,147	24,147							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		24,148	24,144	24,231	24,231	24,229							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		24,148	24,143	24,231	24,231	24,229						
地方債			0	0	0	0	0								
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			24,148	24,143	24,231	24,231	24,229								
財源計(C+D)		24,148	24,143	24,231	24,231	24,229									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター										
				②											
				③											
		主な委託内容		公立保育所(18か所)に安全管理員を配置											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	安全管理員配置施設数	目標値	(単位:か所)	18.00	18.00	18.00
			実績値	(単位:か所)	18.00	18.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	公立保育所施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,341.39	1,346.17		
				一般財源(単位:千円)	1,341.39	1,346.17		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	不審者等の侵入による事件の発生防止	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	不審者等の侵入による事件の発生数を0件とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標	不審者等の侵入による事件の発生数を0件とする。			
	②	成果内容		達成状況	不審者等の侵入による事件の発生数は0件でした。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地域の方々の自発的なボランティアによる防犯警備協力員を募ることで、できる限り安全管理員から防犯警備協力員に移行することを目標にするが、現状では地域住民による防犯警備協力員のみでは常時監視する人員を確保することが困難で、いままぐの完全な事業の移行は難しいため、当面の間事業は継続とする。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00296				

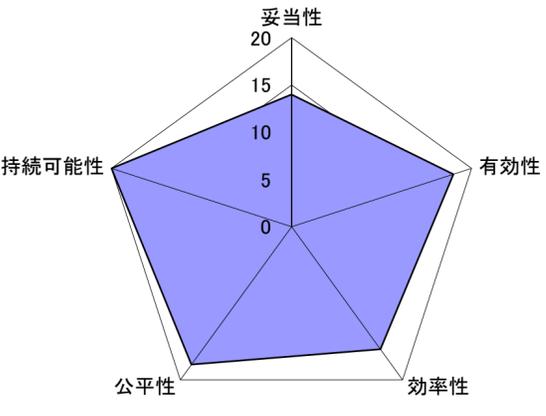
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00296
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>従来は指名競争入札により請負業者を決定し民間の警備会社に委託してきたが、平成23年度からシルバー人材センターへ委託することで、事業経費を削減し、できるだけ地域の方を配置することで、より行き届いた見守り事業となるよう再構築した。また、平成23年度に大阪府の補助金を活用し、門扉のオートロックシステムを導入した。しかし、保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育所の安全対策は重要であり、今後も安全管理員の配置は必要と考えている。また、地域住民による防犯警備協力員のみでは常時監視する人員を確保することが困難であるため、いまずぐの完全な事業の移行は見込めない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域子育て支援センター事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	公立保育所での実施箇所数を地域に1か所(全12か所)としたことに伴う改正											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市子ども・子育て支援事業計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	就学前の在宅の児童とその保護者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公立保育所の地域における子育て援助の機能を強化し、「子育ての地域協働の構築」や「子育ての主体形成」を目指す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域で親子の友だちづくりが広がり、閉鎖された育児環境や育児不安が軽減される。また、子育て支援に関わる機関や団体の連携が進み、地域ぐるみの子育て支援が広がる。													
(7)	事業概要	公立保育所12か所に、地域子育て支援センター事業の企画、調整、実施を担当する地域担当保育士を配置し、各保育所で育児教室をはじめ、子育てサークルの育成、育児相談、施設の一部開放などの地域子育て支援事業を実施している。また、保健センターや幼稚園、民生・児童委員や地区福祉委員等関係機関との連携を進め、地域の子育て環境の基盤形成を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,234	1,125	1,234	1,178	1,234							
		人件費	職員数	人	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00						
			総額(B)	千円	99,600	95,364	100,224	100,224	98,040						
		総事業費(A+B)		100,834	96,489	101,458	101,402	99,274							
		特定財源(C)		9,892	0	9,892	12,696	10,404							
		(内訳)	国	4,946	0	4,946	6,348	5,202							
			府	4,946	0	4,946	6,348	5,202							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		90,942	96,489	91,566	88,706	88,870							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	90,942		96,489	91,566	88,706	88,870									
財源計(C+D)		100,834	96,489	101,458	101,402	99,274									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	1歳半及び0歳児育児教室延べ実施回数	目標値	(単位:回)	1,080.00	1,080.00	1,080.00
			実績値	(単位:回)	837.00	819.00	/	
		達成度(%)			77.5	75.8		
	目標値の積算方法	1歳半育児教室(4コース×8回)×18か所及び0歳児育児教室(4コース×7回)×18か所=標準実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		115.29		123.81
				一般財源(単位:千円)		101.74	108.31	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	1歳半及び0歳児育児教室参加組数	目標値	(単位:組)	1,928.10	1,847.00	1,811.00
			実績値	(単位:組)	2,114.00	1,999.00	/	
		達成度(%)			109.6	108.2		
	目標値の積算方法	1歳6箇月健診対象者及び5月1日付の0歳児数から公立私立利用児童数を引いて、実施施設全体に占める公立保育所12か所の9割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		45.65		50.73
				一般財源(単位:千円)		40.28	44.38	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、公立保育所12か所を地域子育て支援センターと位置付けており、地域担当保育士の配置により、地域ごとの事情に対応したきめ細やかな支援に取り組むことができている。今後も地域子育て支援センターが地域の関係機関とのネットワークの核となって、安心して子育てができる地域づくりを進める必要がある。また、地域子育て支援事業に取り組む私立保育所等の箇所数を増やすことにより、より身近な地域で支援を受けることが出来る環境づくりを進める必要があり、地域性などを考慮して、ニーズを見極めながら進める必要があると考える。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	地域子育て支援センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00297				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00297
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域子育て支援センターの成果として、育児教室、地域開放行事、育児相談、施設の一部開放等を実施することにより、遊びの提供や仲間づくりなどの支援を通して保護者の子育て不安の軽減と子どもの健やかな成長を支える環境づくりが図られている。また、公立保育所が中心となって、地域ネットワークの構築を図り、市内を12地域に分けた各ブロックで「地域子育て支援関係機関連絡会」を開催している。連携が進むことで、地域の親子についての共通認識が深まり、全地域で運動会の開催や地域新聞の発行等の共同事業にも取り組むことができ、地域全体で子育てを支援する基盤づくりを図っていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市保育所一時預かり事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	保護者の断続的な就労や、育児負担軽減、リフレッシュなどにより、一時的に保育が必要な児童(乳幼児)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	対象児童を公立保育所3か所において、一時的に預かる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の断続的な就労を保障する。また、育児負担を軽減することにより、虐待などを未然に防止し、児童の健全な発達を促す。													
(7)	事業概要	保護者の就労形態の多様化等に伴い、通常保育の対象とならない断続的・一時的な就労を保障するため、公立保育所3か所で児童の保育を実施する。また、核家族化が進行し、地域の養育力が低下する中、育児疲れによる保護者の心理的・肉体的負担を軽減し、育児の喜びが実感できる環境を整備する。各施設1日6人以内の受入れで、利用時間は午前9時から午後5時(土曜日は正午)まで。利用料金は、利用年度の4月1日現在が3歳未満の児童は2500円(土曜日は1250円)、3歳以上の児童は1500円(土曜日は750円)。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	6	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		19,047	17,092	19,020	20,219	19,117							
		人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
			総額(B)	千円	9,960	9,537	10,023	10,023	9,804						
		総事業費(A+B)		29,007	26,629	29,043	30,242	28,921							
		特定財源(C)		13,373	11,848	13,294	12,949	12,693							
		(内訳)	国	2,840	2,840	2,840	2,840	2,840							
			府	2,840	2,000	2,840	2,420	2,840							
			その他	7,693	7,008	7,614	7,689	7,013							
		市負担(D)		15,634	14,780	15,749	17,293	16,228							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	15,634	14,780	15,749	17,293	16,228									
財源計(C+D)		29,007	26,628	29,043	30,242	28,921									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 延べ利用者数	目標値	(単位:人)	3,000.00	3,000.00	3,000.00	
			実績値	(単位:人)	2,658.00	2,860.00		
			達成度(%)		88.6	95.3		
	目標値の積算方法	1か所1000人/年の利用	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.47	10.57	
				一般財源(単位:千円)		6.01	6.05	
	②	指標内容	実利用者数	目標値	(単位:人)	300.00	300.00	300.00
実績値				(単位:人)	290.00	322.00		
達成度(%)		96.7	107.3					
目標値の積算方法		1か所100人/年の利用	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		95.98	93.92	
	一般財源(単位:千円)				55.12	53.70		
(2) 成果指標	①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	保護者への子育て支援と児童の保育環境の整備			達成状況	児童福祉の向上	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業については、ニーズの高い事業であるため、継続して実施する必要があるが、今後の民営化・認定こども園化なども視野に入れながら、地域におけるニーズ把握に努め、市域における適正な配置を見極める必要がある					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	00298				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

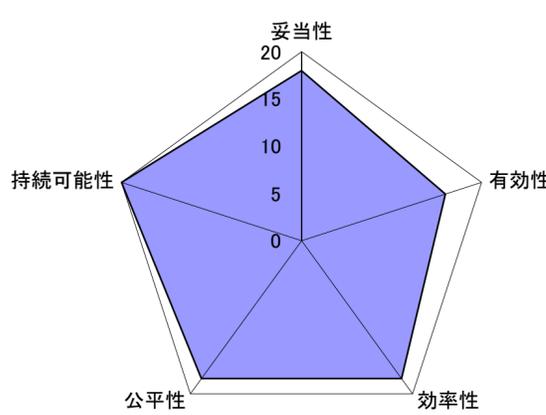
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00298
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

自ら育児教室や育児相談に出向かず、家にこもって育児に悩んでいる保護者に対し、一時預かりを利用していただくことを契機として、保護者の育児支援を行い、必要であれば、保健センター等との機関連携等を行うことで早期療育へつなぐことができるメリットがある。また、一時的に児童を預かることで、育児負担を軽減し、児童虐待を未然に防ぐ効果もある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一時預かり事業については、吹田市子ども・子育て支援事業計画において、幼稚園以外での提供目標を達成するには21か所程度が必要と想定しており、現在、公立保育所3か所、私立保育所6か所、のびのび子育てプラザの計10か所にて実施している。提供体制の整備にあたっては、私立保育所・小規模保育施設による整備を基本としているため、供給不足に陥っている地域に公立保育所が実施することで、サービス供給量を補完している状況にある。</p> <p>また、事業には臨時雇用員を配置するほか、現状の正職配置の中で事業を実施するなど、コストの削減を行いながら、障がい児等配慮の必要な児童にもきめ細かに対応している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	休日保育事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	利用対象者の拡充に伴う改正。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市休日保育事業実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	保護者の就労等により、休日に保育を必要とする児童(乳幼児)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	休日に保育を必要とする児童を受入れし、保護者の就労支援と乳幼児の福祉の増進を図る。												
(7) 事業概要	保護者の就労等により休日に保育を必要とする児童を保育するため、こども発達支援センターにおいて、休日保育を実施する。開室時間は午前8時から午後7時まで。利用時間と年齢区分により2000円から3600円の間で利用者負担有り。利用にあたっては事前に登録・申込が必要。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		369	357	379	383	379							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
	総事業費(A+B)		784	755	797	801	788							
	特定財源(C)		784	357	518	2,231	788							
	(内訳)	国		0	0	0	526	0						
		府		420	238	0	526	0						
		その他		364	119	518	1,179	788						
	市負担(D)		0	397	279	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	397	279	0	0								
財源計(C+D)		784	754	797	2,231	788								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 休日保育実施施設数	目標値	(単位:か所)	1.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:か所)	1.00	1.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	予算数値による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		755.00	801.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 延べ利用者数	目標値	(単位:人)	260.00	462.00	462.00	
			実績値	(単位:人)	260.00	462.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	利用申込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.90	1.73	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容 実利用者数		目標値	(単位:人)	27.00	40.00	40.00
				実績値	(単位:人)	27.00	40.00	
				達成度(%)		100.0	100.0	
目標値の積算方法		利用希望者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		27.96	20.03	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>平成27年度に子ども・子育て支援法が施行され、休日保育事業が延長保育事業の一つとして位置付けられたため、利用料の設定等が複雑となり、平成26年度まで委託していた私立保育所が事業撤退することとなった。これにより、本市では本事業の1か所での実施となり、今後新たに事業開始する施設は見込めない。吹田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果でも報告されているとおり、休日(年末)保育の需要はあり、保護者の就労形態が多様になっていることに伴い、実利用人数も増えていくと予想されるため、事業は継続とする。民間での実施が困難な事業であり、これまで民間で受けていた児童の受入れを行っていく必要がある。</p> <p>平成25年度の外部評価の際の意見もあり、正職のみのローテーションによる職員配置を見直し、専任の臨時雇用員を配置するなど見直しが必要と考えている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	休日保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00299				

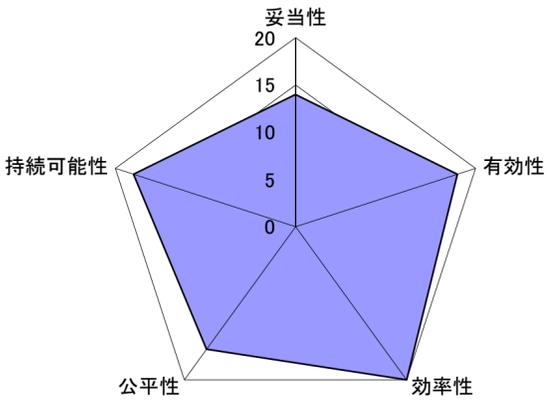
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00299
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果からも、休日(年末)保育の需要はあり、今後も継続する必要がある。平成19年9月からは私立保育所2か所で実施していたが、平成21年度からこども発達支援センターにおいて直営で実施している。なお、平成22年度からは私立保育所は1か所に減少し、平成26年度末をもって私立保育所での実施は0か所となった。</p> <p>コストについては、公立保育所とこども発達支援センターのローテーションで職員配置しており、原則振替とすることで、人件費を低く抑える努力をしている。しかし、正職が開設当初に比べ大幅に削減されており、正職の負担が増えている。正職だけのローテーションでの職員配置も限界にきている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園管理運営事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	佐竹台幼稚園の幼稚園型認定こども園移行に伴う改正。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市立幼稚園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。 吹田市立幼稚園の適正な教育施設としての整備。												
(7) 事業概要	吹田市立幼稚園(全16か所)の運営に必要な経費(教諭の賃金、旅費、研修費用や被服等の購入)の執行に関する業務を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		118,331	113,450	163,943	135,740	176,771							
	人件費	職員数	人	48.00	48.17	51.00	41.00	55.17						
		総額(B)	千円	398,400	382,807	425,952	342,432	450,739						
	総事業費(A+B)		516,731	496,257	589,895	478,172	627,510							
	特定財源(C)		96,540	91,960	81,225	78,348	93,914							
	(内訳)	国	0	4,231	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	96,540	87,729	81,225	78,348	93,914							
	市負担(D)		420,191	404,297	508,670	399,824	533,596							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		420,191	404,297	508,670	399,824	533,596								
財源計(C+D)		516,731	496,257	589,895	478,172	627,510								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市立幼稚園の在園児数(5月1日現在)	目標値	(単位:人)	1,660.00	1,595.00	1,550.00	
			実績値	(単位:人)	891.00	876.00	/	
			達成度(%)		53.7	54.9		
	目標値の積算方法	吹田市立幼稚園の受入定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		599.09	545.86	/
				一般財源(単位:千円)		497.84	456.42	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	幼稚園に関する経費の支出			目標	予算の範囲内での執行		
	②	成果内容	取りまとめて支出することで、内容のチェックができ、適正な支出が行える。			達成状況	概ね予算通りの執行ができています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市立幼稚園を運営していく上で必要であるため、継続する。 ただし、入園児童数が定員を大きく下回っている現状を踏まえ、吹田市子ども・子育て支援事業計画の中で、供給と需用のバランスを見極めながら事業のあり方を検討していく必要がある。 また、子ども・子育て支援新制度に移行する市内私立幼稚園の移行状況を見極めて、小規模保育施設を利用している児童が3歳児になったときの受入れ先として長時間保育をする幼稚園型認定こども園への移行を進めていく。また、保育を必要とする2号認定子どもの受入れに当たり、待機児童が多い市内北部から他の地域へ通園できるような方策を検討する必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	幼稚園管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00303				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00303
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>今後、幼稚園型認定こども園への移行が進むと、給食提供委託料や職員配置に伴う人件費・賃金が増大する見込みである。 なお、入園児童数が定員を大きく下回っている現状を踏まえ、吹田市子ども・子育て支援事業計画の中で、供給と需用のバランスを見極めながら事業のあり方を検討していく必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和47年度	改正内容	補助金支給単価を国の基準改正に基づいて改正。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	23							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内に居住し、私立幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の経済的負担の軽減。 幼稚園教育の一層の普及と充実が図られる。												
(7) 事業概要	国の補助金を受けて、私立幼稚園が保育料の減免を行う場合、私立幼稚園の受領委任を受け、私立幼稚園児保護者を対象に、各世帯の市民税所得割額に応じて就園奨励費補助金を支給する。(平成28年度の一人あたりの支給額は62,200円～308,000円)													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		336,524	504,110	532,483	531,197	546,048							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	2,506	2,506	2,451						
	総事業費(A+B)		344,824	512,057	534,989	533,703	548,499							
	特定財源(C)		80,765	135,666	133,053	160,085	145,612							
	(内訳)	国		80,765	135,666	133,053	160,085	145,612						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		264,059	376,391	401,936	373,618	402,887							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		264,059	376,391	401,936	373,618	402,887								
財源計(C+D)		344,824	512,057	534,989	533,703	548,499								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市民が利用している私立幼稚園											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	私立幼稚園就園奨励費の支給者数	目標値	(単位:人)	3,961.00	4,029.00	4,029.00
			実績値	(単位:人)	3,961.00	4,029.00	/	
				達成度(%)		100.0		100.0
	目標値の積算方法	給付実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		129.45		132.47
				一般財源(単位:千円)		94.89	92.73	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	私立幼稚園に通園希望の保護者ニーズに対し、負担増による私立幼稚園の就園の低下が懸念される。本事業の実施により、私立幼稚園就園率を高め、保護者ニーズを満たすことができる。				達成状況	本事業により、私立幼稚園への就園のニーズを満たすことができている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		私立幼稚園就園奨励費補助金の支給は、国庫補助事業として全国で実施されている事業であり、本市でも国の基準に倣い、保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の振興・充実を図るため、現行どおり継続する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	304				

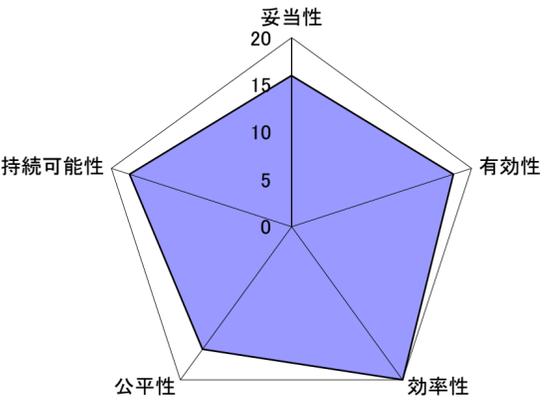
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	304
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国庫補助事業は、近年拡充傾向にあり、補助単価の上昇、負担割合の軽減などが行われている。平成28年度は低所得者層を中心とした多子世帯への軽減策等が実施となる予定である。 なお、平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園についても新たな施設型給付の対象となるが、私立幼稚園については新制度に移行しない選択肢もあり、本市の私立幼稚園についてはほとんどが新制度に移行していないことから、これまでどおり、保護者の経済的負担軽減し、幼児教育の振興・充実を図るため、現行どおり継続する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	私立幼稚園保護者補助金支給事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和44年度	改正内容	国の就園奨励費補助金の改正に伴う補助金額見直しに伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	私立幼稚園在園児の保護者に対する補助金の交付に関する条例、同施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	23							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内に居住し、私立幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	保護者の経済的負担の軽減、保育料負担の公私間格差是正。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	幼稚園教育の一層の普及と充実が図れる。												
(7) 事業概要	私立幼稚園児の保護者負担の軽減を図るため、国庫補助である就園奨励費補助金を補完する事業として、補助金を支給する。支給基準は、就園奨励費補助金の階層区分に準じており、各世帯の所得に応じて設定している (満3・3歳児には15,000円から30,000円、4・5歳児には、7,500円から66,000円)。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	4	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		193,240	146,865	154,845	140,510	146,787							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	8,300	7,947	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		201,540	154,812	156,516	142,181	148,421							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		201,540	154,812	156,516	142,181	148,421						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		201,540	154,812	156,516	142,181	148,421						
財源計(C+D)		201,540	154,812	156,516	142,181	148,421								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市民が利用する私立幼稚園在園児保護者										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 保護者補助金の支給者数	目標値	(単位:人)	4,529.00	3,432.00	3,432.00
			実績値	(単位:人)	3,562.00	3,432.00	
		達成度(%)				78.6	100.0
	目標値の積算方法 給付実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		43.58	41.43	
			一般財源(単位:千円)		43.58	41.43	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)				0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	<p>私立幼稚園に通園希望の保護者ニーズに対し、負担増による私立幼稚園の就園の低下が懸念される。本事業の実施により、私立幼稚園就園率を高め、保護者ニーズを満たすことができる。</p>			達成状況	<p>本事業により、公私間格差の是正とともに私立幼稚園への就園のニーズを満たすことができている。</p>
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>私立幼稚園保護者補助金は、国の就園奨励費補助金により軽減される保護者の負担額に応じて、補助内容、公私間格差の是正を図る補完事業として、就園奨励費補助金増額に応じた減額を進めてきた。平成27年度から施行する子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園についても新たな施設型給付の対象となるが、新制度に移行しない選択肢もあり、本市の私立幼稚園についてはほとんどが新制度に移行しないことから、新制度に移行した公・私立幼稚園との格差の是正と保護者の経済的負担軽減、幼児教育の振興・充実を図るため、平成28年度まで、現行どおり継続することとした。今後、小規模保育事業の増加に伴う3歳児の受入枠の拡充の必要性があることから、本事業を平成28年度末での廃止を視野に、待機児童対策を含めた新たな補助金の創設を検討する。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立幼稚園保護者補助金支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	305				

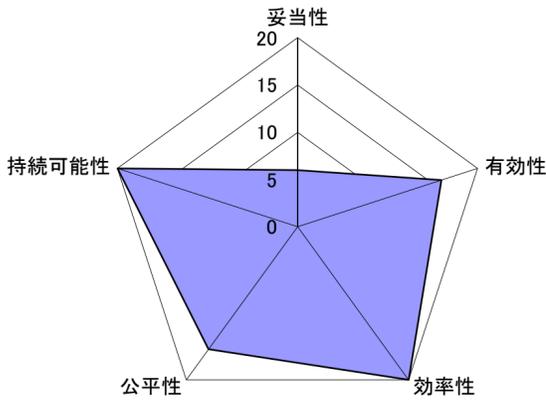
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	6	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	305
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保護者補助金については、国の就園奨励費補助金の補完事業として実施しており、平成25年度から一体的な事業として進めてきている。近年は国の就園奨励費補助金が増加傾向にあることから、保護者補助金は減少傾向となっているが、国の就園奨励費補助金だけでは、新制度に移行した公・私立幼稚園の保護者の負担額と乖離があることから、終期を設定のうえ、事業を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	私立幼稚園健康診断助成事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正 内容	補助対象を4歳児から4・5歳児に拡充											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	吹田市私立幼稚園園児の健康診断事業助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	11							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内私立幼稚園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公私立幼稚園間の健康管理体制における処遇格差を是正する。 私立幼稚園児の健康管理の充実を図り、幼稚園教育の振興に資する。												
(7) 事業概要	市内の私立幼稚園が在籍園児に対し健康診断を実施する場合、健診を受けた市内在住の4歳児・5歳児の合計人数に1,000円を乗じて得た額を助成金として支給する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	4	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,000	3,016	3,000	3,093	3,000							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	830	795	418	418	409						
	総事業費(A+B)		3,830	3,811	3,418	3,511	3,409							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,830	3,811	3,418	3,511	3,409							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,830	3,811	3,418	3,511	3,409								
財源計(C+D)		3,830	3,811	3,418	3,511	3,409								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	私立幼稚園(16箇所)										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	補助金を交付する私立幼稚園	目標値	(単位:箇所)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:箇所)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市内私立幼稚園設置者	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		238.19	219.44	
				一般財源(単位:千円)		238.19	219.44	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		市内私立幼稚園設置者	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	市内在住の私立幼稚園4・5歳児の健診受診者数	目標値	(単位:人)	3,016.00	3,093.00	3,000.00
	実績値			(単位:人)	3,016.00	3,093.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	市内在住の私立幼稚園4・5歳児の健診対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.26	1.14	
				一般財源(単位:千円)		1.26	1.14	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		市内在住の私立幼稚園4・5歳児の健診対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		新制度に移行した幼稚園については公定価格に含まれている事業内容であることから、本事業は対象外となっている。本市としては、今後、私立幼稚園から認定こども園への移行を推し進めていく必要があることから、本事業については平成28年度末での廃止を視野に検討する。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立幼稚園健康診断助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	306				

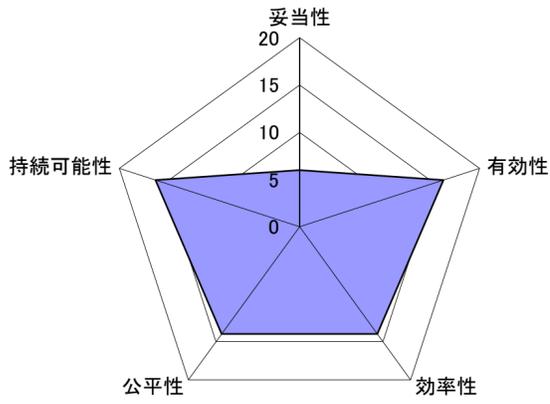
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	6	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	66	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	306
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当事業は、市内在住の幼稚園児において、公立・私立幼稚園間で格差が生じないよう、市立幼稚園児と同じ4・5歳児を対象に私立幼稚園児の健康診断費用を助成している。 しかし、市立幼稚園については新制度へ移行しており、公私間格差は解消されていることから、廃止を視野に終期を設定のうえ、本事業を行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立幼稚園防犯警備協力員配置事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	所管が保育幼稚園課へ移管されたことによる改正。											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市防犯警備協力員配置事業実施要項													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市立幼稚園												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市立幼稚園での園児の安全を市民と協働して確保する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市立幼稚園における安全対策の充実が図られ、園児が安心して園生活を送ることができる。													
(7)	事業概要	公立幼稚園児の安全を守る警備活動に資するため、地域住民等の中から選任された無償のボランティアの警備活動に対し、損害賠償保険、活動用消耗品等の経費を支出し、公立幼稚園の安全対策の充実を図る。主に朝の午前9時前から30分程度園の周りを巡回し、危険物、不審者がいないかなどを確認している。(平成15年度に、有償ボランティア制度を廃止した。)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		96	96	111	106	111							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		179	176	195	190	193							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		179	175	195	190	193							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			179	175	195	190	193								
財源計(C+D)		179	175	195	190	193									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	無償ボランティア													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市立幼稚園全園での実施	目標値	(単位:園)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:園)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	吹田市立幼稚園の施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.00	11.88	
				一般財源(単位:千円)		11.00	11.88	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		防犯警備協力員ボランティア保険加入人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 防犯警備協力員ボランティア保険加入人数	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	160.00
	実績値			(単位:人)	160.00	160.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	防犯警備協力員ボランティア保険加入人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.10	1.19	
				一般財源(単位:千円)		1.10	1.19	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		防犯警備協力員ボランティア保険加入人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		通園時における安全確保の具体的な方策の一つとして、学校の安全管理員の配置と合わせて行うことで、地域での防犯意識を高める効果もあり、今後も継続していくべき事業である。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園防犯警備協力員配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00307				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00307
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>通園時における安全確保の具体的な方策のひとつとして、学校の安全管理員の配置と合わせて行うことで、地域での防犯意識を高める効果もあり、今後も継続していくべき事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子育て支援活動事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内在住の子育て世代の親子												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市立幼稚園(全16か所)で行う子育て支援活動への参加。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	子育て支援活動に参加してもらうことにより、子育て世代の親の負担軽減が図れる。													
(7)	事業概要	市立幼稚園は地域の幼児教育センターの役割を担っており、園庭開放や未就園児の行事参加、子育て講座等、様々な子育て支援活動を行うことで、子育ての不安を解消し、互いに支えあって子育てを行えるよう支援するとともに、地域の幼児に遊びの場や機会を提供することで地域全体での子育てについての教育力を高める。 行事などへの不特定多数の参加者を対象に、怪我などに備えた傷害・損害賠償保険に加入し、その経費を支出している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		170	183	154	176	154							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		253	263	238	260	236							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		253	262	238	260	236							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			253	262	238	260	236								
財源計(C+D)		253	262	238	260	236									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 子育て支援活動数	目標値	(単位:回)	4,609.00	5,775.00	5,933.00	
			実績値	(単位:回)	5,775.00	5,933.00		
			達成度(%)		125.3	102.7		
	目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.05	0.04	
				一般財源(単位:千円)		0.05	0.04	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 子育て支援活動参加人数	目標値	(単位:人)	80,000.00	90,000.00	90,083.00
	実績値			(単位:人)	89,340.00	90,083.00		
	達成度(%)			111.7	100.1			
	目標値の積算方法	見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		核家族化により、子育て支援の必要性がますます高まっている中、地域子育て支援事業は様々な施設または事業主体によって実施されており、市立幼稚園においては、地域の幼児教育センターとしての役割を果たすため、その他の担い手と連携を強化することで子育て支援の充実に取り組む必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	子育て支援活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00308				

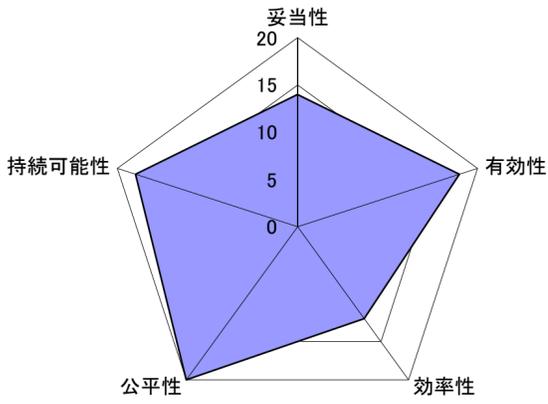
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00308
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年の核家族化の中で、未就園児の児童を持つ保護者からの子育て相談や園庭開放など子育て支援に対する期待も大きく、地域の幼児教育センターとしての市立幼稚園の役割と必要性は高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	認可外保育施設運営支援事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市保育緊急確保事業対象施設運営費補助金支給要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	認可外保育施設											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	待機児童数の減少 待機児童数の減少に寄与することができた												
(7) 事業概要	<p>質の確保された認可外保育施設に対し、運営に要する費用の一部を補助するものとして、待機児童の多い4歳児未満を対象に実施。認可保育所への移行施設については、0歳児の月額107,000円、1・2歳児の57,000円、3歳児の22,000円を補助するもの。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	9	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		120,855	233,038	94,803	63,064	80,042							
	人件費	職員数	人	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	498	477	418	418	409						
	総事業費(A+B)		121,353	233,515	95,221	63,482	80,451							
	特定財源(C)		90,586	231,274	71,073	51,890	60,002							
	(内訳)	国	60,100	172,816	47,225	35,312	39,844							
		府	30,486	58,458	23,848	16,578	20,158							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		30,767	2,241	24,148	11,592	20,449							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		30,767	2,241	24,148	11,592	20,449								
財源計(C+D)		121,353	233,515	95,221	63,482	80,451								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	認可外保育施設(3箇所)											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施施設数	目標値	(単位:箇所)	19.00	4.00	3.00	
			実績値	(単位:箇所)	19.00	3.00		
			達成度(%)		100.0	75.0		
	目標値の積算方法	対象となる施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12,941.84	21,160.67	
				一般財源(単位:千円)		3,255.84	3,864.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 支援事業の利用による待機児童数の減少 (支援事業利用児童数) 各年度4月1日	目標値	(単位:人)	553.00	583.00	945.00
	実績値			(単位:人)	189.00	82.00		
	達成度(%)			34.2	14.1			
	目標値の積算方法	未利用児童数 各年度4月1日	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,301.03	774.17	
				一般財源(単位:千円)		327.31	141.37	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、19人以下の小規模保育事業所と20人以上の認可保育所への移行の認可外保育施設に対し実施し、効果として待機児童数の減少があった。</p> <p>平成27年度から施行する子ども・子育て支援新制度では、小規模保育事業所については地域型保育給付として新たな認可事業に位置づけられ、本事業の対象外となることから、認可保育所への移行施設のみに限定し、縮小して事業を実施した。なお、平成31年4月までに認可保育所に移行する必要があることから、本事業は平成30年度までとなる。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	認可外保育施設運営支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	311				

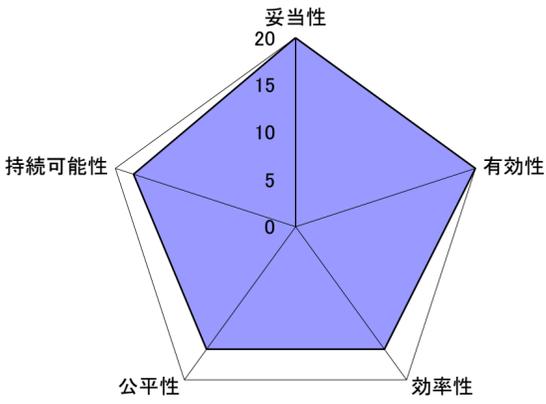
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	311
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>待機児童の受け皿として機能しており、効果としては大きいものがある。また、認可保育所への移行を進めることで、最終的に待機児童解消の一翼を担うこととなることから移行までの事業計画を作成のうえ、確実に進めていく必要がある。</p> <p>今後、国が認可化移行期間(5年間)の要件緩和を検討していることから、本市について終期の設定など国の動向を見ながら検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立幼稚園保健衛生管理事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	佐竹台幼稚園の幼稚園型認定こども園移行に伴う改正。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市立幼稚園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。												
(7) 事業概要	吹田市立幼稚園(全16か所)の運営に必要な経費(児童の負傷等に備える保険加入や保健衛生用品の購入)の執行に関する業務を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		775	745	792	771	769							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		2,435	2,335	2,463	2,442	2,403							
	特定財源(C)		192	184	184	181	180							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	192	184	184	181	180							
	市負担(D)		2,243	2,150	2,279	2,261	2,223							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		2,243	2,150	2,279	2,261	2,223								
財源計(C+D)		2,435	2,334	2,463	2,442	2,403								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	医療法人 橘甲会										
			②											
			③											
	主な委託内容		尿検査業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 公立幼稚園施設数	目標値	(単位:か所)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:か所)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	経常的な維持管理が必要な公立幼稚園施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		145.94	152.63	
				一般財源(単位:千円)		134.44	141.31	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公立幼稚園の適切な施設管理及び事業運営			達成状況	利用児童の処遇改善及び教育環境の向上	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		消耗品の購入については節約の意識を持ち、経費節減に努めながら本事業を継続実施していく。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園保健衛生管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00312				

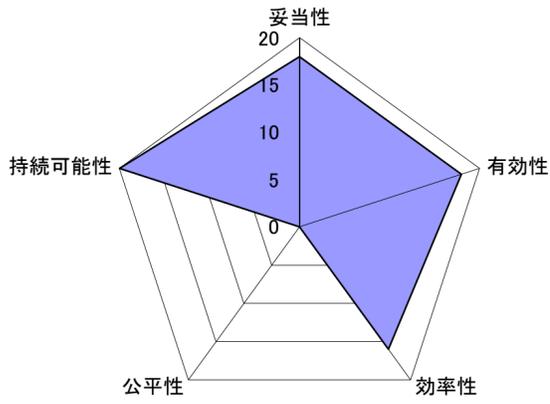
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00312
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市立幼稚園を運営していく上で必要であるため、継続する。 (幼稚園管理運営事業の一つで、平成26年度より保健給食室より業務移管された事業。)</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公立幼稚園施設管理事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	佐竹台幼稚園の幼稚園型認定こども園移行に伴う改正。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市立幼稚園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。 吹田市立幼稚園の適正な教育施設としての整備。												
(7) 事業概要	吹田市立幼稚園(全16か所)の運営に必要な経費(修繕料や保育用品及び備品の購入)の執行に関する業務を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		45,311	44,551	44,711	43,422	44,390							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,451							
	総事業費(A+B)		47,801	46,936	47,217	45,928	46,841							
	特定財源(C)		8,000	6,992	8,000	7,022	8,000							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	8,000	6,992	8,000	7,022	8,000							
	市負担(D)		39,801	39,943	39,217	38,906	38,841							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		39,801	39,943	39,217	38,906	38,841								
財源計(C+D)		47,801	46,935	47,217	45,928	46,841								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター										
			②											
			③											
	主な委託内容		環境整備、除草・剪定業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 公立幼稚園施設数	目標値	(単位:か所)	16.00	16.00	/
			実績値	(単位:か所)	16.00	16.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 経常的な維持管理が必要な公立幼稚園施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,662.00	2,870.50		
			一般財源(単位:千円)	2,225.00	2,431.63		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	公立幼稚園の適切な施設管理及び事業運営			達成状況	利用児童の処遇改善及教育環境の向上
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		消耗品費・備品の購入については節約の意識を持ち、備品についても、できる限り更新せず、原則修理で対応し、経費節減に努めながら本事業を継続実施していく。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園施設管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00313				

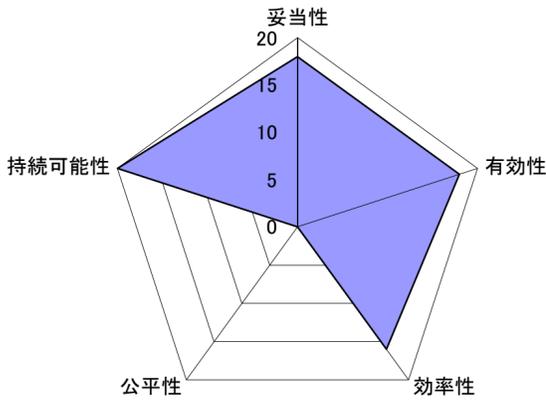
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00313
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市立幼稚園を運営していく上で必要であるため、継続する。 (幼稚園管理運営事業の一つで、平成26年度より学校管理室より業務移管された事業。)</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	発達支援保育事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市発達支援保育実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	保育所における集団保育が適当と認められるおおむね3歳以上の障がい児等で日々通所することができる児童												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	他の幼児とともに集団保育することによって発達を援助する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	発達を援助し、当該児の福祉の増進を図る。												
(7)	事業概要	保育所における集団保育が適当と認められるおおむね3歳以上の障がい児等を、他の幼児とともに集団保育することにより当該児の発達を支援し、福祉の増進を図る。 必要な場合には介助保育士を配置するほか、発達診断を行っている。主に公立保育所を利用しているが、障がいの程度や保護者の希望を考慮し、受入れが可能ならば私立保育所を利用してもらい、発達診断、巡回相談などを行っている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		45,808	35,935	45,664	41,939	45,949							
		人件費	職員数	人	5.91	5.91	5.91	5.91	5.91						
			総額(B)	千円	49,053	46,967	49,361	49,361	48,285						
		総事業費(A+B)		94,861	82,902	95,025	91,300	94,234							
		特定財源(C)		7,777	8,619	7,936	8,600	8,071							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	7,777	8,619	7,936	8,600	8,071							
		市負担(D)		87,084	74,283	87,089	82,700	86,163							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
			一般財源	87,084	74,283	87,089	82,700	86,163							
財源計(C+D)		94,861	82,902	95,025	91,300	94,234									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 発達支援保育制度適用児童数(公立)	目標値	(単位:人)	105.00	105.00	105.00
			実績値	(単位:人)	127.00	110.00	
			達成度(%)		121.0	104.8	
	目標値の積算方法	原則1クラス2名以内で、公立保育所の総定員(2112人)の5%(105人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		652.77	830.00
				一般財源(単位:千円)		584.91	751.82
	(2) 成果指標	②	指標内容 発達支援保育制度を適用した新規受け入れ児童数(公立)	目標値	(単位:人)	47.00	57.00
実績値				(単位:人)	41.00	51.00	
達成度(%)				87.2	89.5		
目標値の積算方法		発達支援保育制度申請者のうち公立を第1希望にしている人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,022.00	1,790.20
				一般財源(単位:千円)		1,811.80	1,621.57
(3) 困難指標など場示合		①	指標内容 設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	②	指標内容 設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
				達成度(%)		0.0	0.0
③	活動内容	目標					
			達成状況	児童によって程度の差はあるものの、対象児の人間関係、対人面・行動面、知的部分の改善が認められた。			
④ 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
		評価の説明	発達支援制度を利用する児童がクラスに1~2人、保育所全体の5%を超えると、安全に発達保障を行うことが困難と考えているが、就労要件の児童で、本制度を利用していないが、介助を必要とする児童もいるため、実際に公立保育所の介助を必要とする児童は総定員の約6%に達しており、公立保育所だけで事業を継続していくことは非常に困難な状況となりつつあるため、私立保育所での受入れを促進していく必要がある。 保育所の集団保育が持つ発達支援効果について、今後も活用すべき児童の増加が見込まれることから、事業は継続とする。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	発達支援保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00314				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00314
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

早期療育システムの一環として行っている事業であるが、子どもの育ちは数値化しにくく、その観点での評価は難しい。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>費用対効果については、事業の性格上、判断が困難であり、対象児童数やその発達状況などにより、コスト効率は変化し予測は難しい。障がい児数は、年々増加傾向にあり、対人障がいがあるため介助を要する児童も増加している。</p> <p>発達支援保育は集団保育により発達を援助し、児童期以降の障がいの軽減、発達を促す早期障がい児対策の一つとして公的役割が大きい。児童の発達には様々な程度の差があり、療育施設に通所する程ではなくても、なるべく早く集団の中に入れることにより、効果がある場合も多い。児童の発達に不安を持つ保護者にとっても必要な事業であり、私立保育所での受入れを促進していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	発達支援保育フォロー事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	1												
	細節	22												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	障がい児など発達上配慮を要する児童が利用している私立保育所											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい児など発達上配慮を要する児童を支援するとともに、私立保育所での障がい児への理解が深まり、受け入れやすい環境を整備することができる。												
(7) 事業概要	ノウハウを持った保育士OB(園長経験者)が私立保育所を巡回し、直接相談を受けながら指導・助言を行うことで障がい児の受け入れをフォローしていく。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	10	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,266	1,780	2,323	1,754	2,354							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
		総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
	総事業費(A+B)		2,349	1,860	2,407	1,838	2,436							
	特定財源(C)		10	0	2,323	1,754	2,354							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	2,313	1,754	2,344							
		その他	10	0	10	0	10							
	市負担(D)		2,339	1,859	84	84	82							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		2,339	1,859	84	84	82								
財源計(C+D)		2,349	1,859	2,407	1,838	2,436								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 私立保育所巡回施設数	目標値	(単位:か所)	20.00	18.00	/	
			実績値	(単位:か所)	20.00	18.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	私立保育所での障がい児受入れ施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	93.00	102.11		
				一般財源(単位:千円)	93.00	4.67		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 私立保育所での障がい児等受入れ延べ人数	目標値	(単位:人)	45.00	46.00	/	
			実績値	(単位:人)	46.00	47.00		
			達成度(%)		102.2	102.2		
	目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	40.43	39.11		
				一般財源(単位:千円)	40.43	1.79		
	②	指標内容 私立保育所での障がい児受入れ施設数	目標値	(単位:か所)	20.00	20.00		/
			実績値	(単位:か所)	20.00	18.00		
			達成度(%)		100.0	90.0		
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	93.00	102.11			
			一般財源(単位:千円)	93.00	4.67			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		公立保育所を利用している配慮を要する児童は110人で、安全に児童の発達保障を行うには、障がいの程度にもよるが、各園で5人程度の障がい児数までが適切と考えている。今後は公立保育所だけでなく、公私問わず近くの保育所で受入れできる体制を整備していく必要があるが、私立保育所で障がい児を受入れるにあたっては、技術や知識の習得に一定の時間を要するため、早急に私立保育所での受入れ環境を整備していくことが重要であるため、対策の一つとして引き続き実施していく。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	発達支援保育フォロー事業	事業区分	その他
事務事業番号	00315				

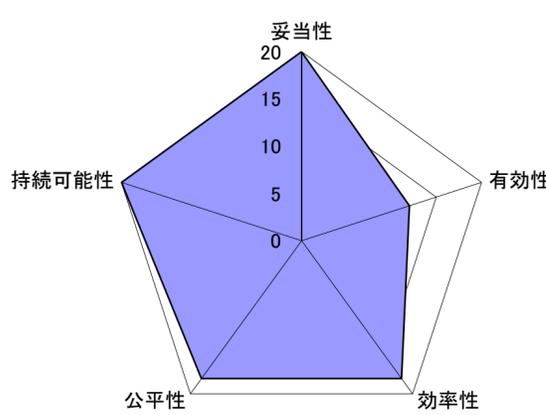
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00315
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内の認可保育所での障がい児等の受入れは、公立18園、私立28園に対して、全体の3/4を公立保育所で受入れている。私立保育所では障がい児を受入れるにあたって、ベテランの保育士が少なく、現時点では障がい児等の保育に係る専門的業務についての相談体制が整っていないため受入れに消極的になっている。しかし、安全な発達保障を行うには、公立保育所での障がい児のさらなる受入れは限界であり、民営化していくことも考えると、私立保育所での障がい児受入れを増やすことが必要となる。</p> <p>本事業だけでなく、私立保育所等への発達支援保育対策費助成の充実や、関係機関との連携強化などにより、障がいのある子どもとその保護者へのより適切な療育を図るため、各機関の連携による療育システムの充実、地域との連携の推進が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度に市単独事業として新たに実施してきたが、平成27年度から大阪府の新子ども・子育て支援交付金の対象となり、補助率10/10の補助事業となっている。

事務事業評価調書

事務事業名	公立保育所民営化推進事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市公立保育所民営化実施計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公立保育所運営業務												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公立保育所のうち5園の民営化及びその年次計画を決定した。同計画に基づき、各園の円滑な民営化実施を目標としている。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	平成30年度移管予定となる保育所については、募集要領の作成を終えて事業者募集の段階に至っており、着実に計画を進めている。													
(7)	事業概要	「吹田市子ども・子育て支援事業計画」を進めていくに当たり、待機児童の解消等は喫緊の課題となっており、さらなる子育て支援施策を実現させるために多くの財源確保が必要となる。財源確保の必要性と公立保育所のセーフティネット的役割について総合判断したうえで、公立保育所5園を民営化対象園と決定し、円滑な民営化を目指す。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	11	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,647	0	2,647	2,219	3,411							
		人件費	職員数	3.00	0.00	4.00	3.00	4.00							
			総額(B)	24,900	0	33,408	24,118	32,680							
		総事業費(A+B)		27,547	0	36,055	26,337	36,091							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		2,647	0	2,647	2,219	36,091							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	2,647		0	2,647	2,219	36,091									
財源計(C+D)		2,647	0	2,647	2,219	36,091									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	民営化対象園の保護者に対して定期的な説明会を実施している。また、吹田市民営化保育所移管先選定委員会を開催して、円滑な民営化実施を進めている。			目標	民営化対象園の保護者が抱える不安の解消に努める。吹田市民営化保育所移管先選定委員会を着実に開催する。
	②	成果内容	民営化対象園の保護者への説明会を実施することで、不安の解消を図ってきた。吹田市民営化保育所移管先選定委員会を着実に開催し、1園については募集要領の作成・事業者募集を行った。			達成状況	民営化の年次計画通りに、円滑な民営化実施を進めることができています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		「吹田市子ども・子育て支援事業計画」を進めていくに当たり、さらなる子育て施策を充実させるためには多くの財源確保が必要となってくる。本事業は財源確保の観点からも、引き続き計画通りに進めていく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所民営化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01413				

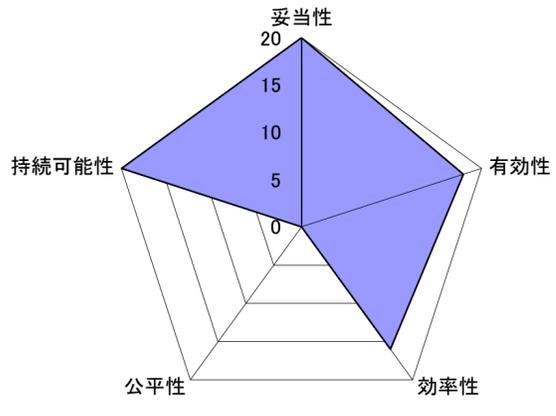
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01413
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>「吹田市子ども・子育て支援事業計画」を進めていくに当たり、待機児童の解消等は喫緊の課題となっており、さらなる子育て支援施策を実現させるために多くの財源確保が必要となる。 子育て支援施策を充実させていくための財源確保の手段として、着実に事業を進めていく必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	(仮称)北千里・古江台認定こども園整備事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	26年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市立北千里保育園および同古江台幼稚園												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	北千里保育園と古江台幼稚園を一体化し、旧古江台幼稚園用地において幼保連携型認定こども園を新設する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	平成30年4月に幼保連携型認定こども園を開園する。													
(7)	事業概要	すべての就学前の子どもたちへの、より質の高い教育・保育の総合的な提供を目指すため、北千里保育園と古江台幼稚園とを一体化した幼保連携型認定こども園を新設する。 北千里保育園舎は老朽化が著しく、古江台幼稚園舎は耐震性に問題があるため、古江台幼稚園用地において両施設を一体化した新園舎を建設する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	14	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	123,547	111,257	241,154							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	1.50	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	0	0	12,528	8,040	8,170						
		総事業費(A+B)		0	0	136,075	119,297	249,324							
		特定財源(C)		0	0	0	0	6,645							
		(内訳)	国		0	0	0	0	6,645						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	123,547	111,257	242,679							
		(内訳)	地方債		0	0	76,800	0	183,600						
			その他		0	0	0	0	40,000						
一般財源			0	0	46,747	111,257	19,079								
財源計(C+D)		0	0	123,547	111,257	249,324									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:%)	0.00	11.10	/
			実績値	(単位:%)	0.00	9.95	
			達成度(%)		0.0	89.6	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	11,181.61		
			一般財源(単位:千円)	0.00	11,181.61		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	古江台幼稚園を仮園舎に移転し、幼稚園舎の解体・撤去を行う。また、新園舎の実施設計を完成させる。		目標	古江台幼稚園については平成27年度の2学期から仮園舎での運営を開始し、旧園舎の解体は年度内に完了する。	
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年3月から新園舎の実施設計業務を開始し、平成28年3月に実施設計が完成している。また、新園建設予定地である旧古江台幼稚園用地については、旧園舎解体工事が完了した。平成28年度には新築工事を着工し、平成29年度中の新園舎竣工をもって本事業終了となる予定。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	(仮称)北千里・古江台認定こども園整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01414				

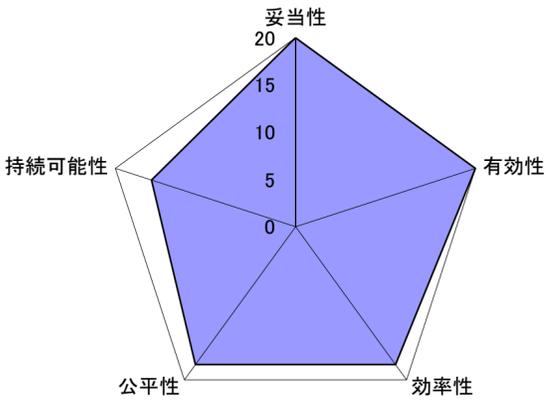
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01414
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>老朽化の進む北千里保育園と古江台幼稚園とを一体化整備し、より質の高い教育・保育を提供する幼保連携型認定こども園を新たに建設するため、まずは建設予定地となる古江台幼稚園の仮園舎への移転および旧園舎の解体作業が完了している。 今後は平成30年度の開園に向け、幼保連携型認定こども園の新園舎新築工事を進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	新規参入施設巡回支援事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	新たに小規模保育事業施設を開設した、もしくは開設しようとする事業者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	1年目の小規模保育事業施設等を経験豊富な保育士が巡回し、直接相談を受けながら、保護者対応や保育内容の助言を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	支援体制を充実させることで新たに参入する事業者が安心して保育する環境を整備することができる。また、保育内容の助言等を通じて、保育の質の向上を図ることができる。													
(7)	事業概要	小規模保育事業施設等に新規参入する事業者に対し、経験豊富な保育士OBが巡回し、相談・助言を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	12	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	3,123	2,327	3,138							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	0	0	84	81	82						
		総事業費(A+B)		0	0	3,207	2,408	3,220							
		特定財源(C)		0	0	2,085	1,683	2,095							
		(内訳)	国		0	0	1,036	904	1,041						
			府		0	0	1,036	773	1,041						
			その他		0	0	13	6	13						
		市負担(D)		0	0	1,038	644	1,125							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	1,038	644	1,125								
財源計(C+D)		0	0	3,123	2,327	3,220									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 巡回施設数	目標値	(単位:か所)	0.00	15.00	/
			実績値	(単位:か所)	0.00	15.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	新規参入施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	155.13	
				一般財源(単位:千円)	0.00	42.93	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	巡回相談・助言を通して、安心して保育できる環境整備と、保育の質の向上ができる。			達成状況	より質の高い保育水準の維持
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>平成27年度から0～2歳児を対象とした小規模保育事業が始まったが、保育方法や保護者対応等で苦慮することが多く、保育の質を確保する観点から本事業を実施している。新たに参入する事業者が安心して保育できる環境を整備することを第一の目的とするが、保育内容の相談・助言を通して、より質の高い保育水準を維持する必要がある。</p> <p>平成27年度は15か所巡回したが、平成28年度はさらに10か所程度増える見込みで、1年目の15か所も巡回回数は減らすものの、事業者からは保育面での助言を必要とされており、引き続き巡回予定のため、今後はさらなる職員配置が必要と考える。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	新規参入施設巡回支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01415				

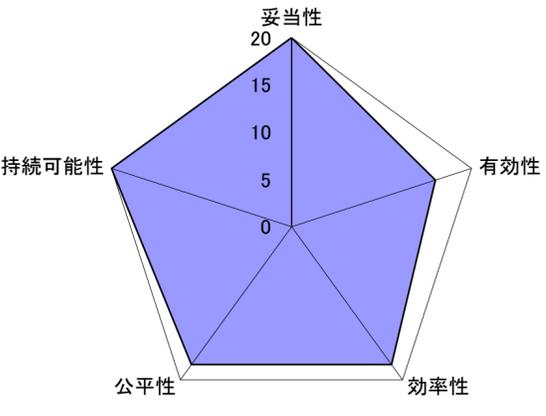
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01415
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に小規模保育施設を開設した15か所全て巡回し、SIDS(乳児突然死症候群)対策、保育課程、指導計画、個人カリキュラムの作成、部屋の使い方、個別の発達面での相談、給食・離乳食の進め方・アレルギー対応など多岐にわたる相談等に助言をしている。また、次回訪問時に改善されたかどうかの確認をしている。巡回相談を通して、事業者の不安解消にもなっているし、保育の質の確保にもつながっている。平成31年度までは新たな保育運営事業者が増えていくことが予想されるため、引き続き本事業を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度4月に「待機児童解消アクションプラン」が策定され、小規模保育施設の開室が短期間で増加する見込みである。

事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市立幼稚園一時預かり事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり		節	1	細節	21						
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市立幼稚園児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	一時預かり保育を希望する園児を教育時間終了後も預かる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者への子育て支援の充実。													
(7)	事業概要	吹田市立幼稚園の教育課程にかかる教育時間の終了後に、保育の必要な園児に一時預かり保育を行う。原則弁当日の月火木金曜日の午後5時まで実施。1回500円。幼稚園型認定こども園及び移行対象園の8園は、水曜日(1回700円)及び長期休業期間(1回1,000円)も実施。(平成28年度から、認定こども園は午後5時から午後6時まで延長実施しており、1回150円徴収している。)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	6	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	17,655	14,953	23,380							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.20	4.20	0.20						
			総額(B)	千円	0	0	1,671	33,764	1,634						
		総事業費(A+B)		0	0	19,326	48,717	25,014							
		特定財源(C)		0	0	17,648	23,822	22,454							
		(内訳)	国		0	0	6,129	9,625	6,125						
			府		0	0	6,129	6,565	6,125						
			その他		0	0	5,390	7,632	10,204						
		市負担(D)		0	0	7	0	2,560							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	7	0	2,560								
財源計(C+D)		0	0	17,655	23,822	25,014									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	延べ利用者数	目標値	(単位:人)	4,634.00	12,520.00	14,608.00
			実績値	(単位:人)	12,520.00	14,608.00	/	
		達成度(%)			270.2	116.7		
	目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		1.02
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	設定困難	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	保護者への子育て支援と児童の保育環境の整備	達成状況		児童福祉の向上		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	本事業は子育て支援事業ではあるが、幼稚園型認定こども園移行対象園については移行前の準備を行うとともに、就労による長時間保育ニーズに早急に対応するため先んじて毎日実施をしている。毎日実施していない8園は、今後私立幼稚園の認定こども園化の動向と4、5歳児の待機児童の状況を踏まえて検討する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01416				

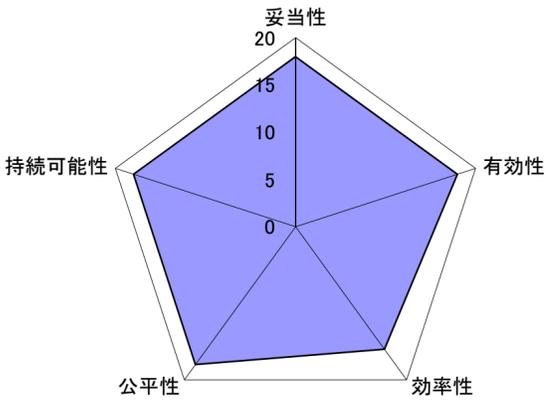
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01416
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年9月から、幼稚園型認定こども園移行対象園の8園については、移行前の準備を行うとともに、就労による長時間保育ニーズに早急に応えるため毎日実施をしている。これにより、子育て支援が充実するとともに、就労している保護者が児童を預ける選択肢の一つとして市立幼稚園が担うことができる。</p> <p>水曜日及び長期休業期間を含む毎日実施をするようになって、日によって勤務時間が異なることから、幼稚園教諭又は保育士の確保が困難となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市幼稚園型一時預かり事業助成金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	新制度に移行した私立幼稚園・認定こども園												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	一時預かり保育を希望する園児を基本教育時間終了後も預かる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者への子育て支援の充実。													
(7)	事業概要	基本教育時間を含む8時間以内の在園児の一時預かり保育を行う場合、国の基準に基づき1人400円/日、土・日曜日・祝日での8時間以内の場合は1人800円/日を助成する。また、基本教育時間を含む8時間を超える場合は1人100円/日を助成する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	13	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	7,945	1,308	10,335							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	0	0	836	804	817						
		総事業費(A+B)		0	0	8,781	2,112	11,152							
		特定財源(C)		0	0	4,828	872	6,890							
		(内訳)	国		0	0	2,414	436	3,445						
			府		0	0	2,414	436	3,445						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	3,117	436	4,262							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	3,117	436	4,262								
財源計(C+D)		0	0	7,945	1,308	11,152									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	認定こども園、新制度移行私立幼稚園										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	市内の実施施設数	目標値	(単位:箇所)	0.00	3.00	8.00
			実績値	(単位:箇所)	0.00	1.00	/	
		達成度(%)		0.0	33.3			
	目標値の積算方法	市内の対象施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,308.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	436.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	市内実施施設の基本分の延利用児童数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		予算積算資料の市内基本分の延利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	活動内容	市内実施施設の基本分の延利用児童数	目標値	(単位:人)	0.00	8,750.00
	実績値			(単位:人)	0.00	2,639.00	/	
	達成度(%)		0.0	30.2				
	②	指標内容	市内実施施設の基本分の延利用児童数	目標値	(単位:人)	0.00		0.00
				実績値	(単位:人)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法	予算積算資料の市内基本分の延利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	本事業は新制度移行私立幼稚園や認定こども園の在園児に対する子育て支援事業であり、長時間保育ニーズに応えるため、国事業に基づき実施している。今後も一時預かり事業のニーズが高いことから、継続して実施する。						

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業(私立幼稚園)	事業区分	その他
事務事業番号	01417				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01417
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園や認定こども園の1号認定こども園の預かり保育に係る費用について助成することにより、幼稚園での長時間保育ニーズに応えることとなっている。</p> <p>今後、旧制度の私立幼稚園からの認定こども園化を含め、対象施設・児童が増えていくことから、本事業については増加していくものとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小規模保育卒園児受入臨時助成事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	小規模保育卒園児受入臨時助成事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
	節	1												
	細節	23												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	小規模保育事業所を卒園した児童のうち、新制度に移行しない旧制度の私立幼稚園に入園した児童											
	結果 (どのような効果が得られるのか)		3歳児の待機児童の解消											
(7) 事業概要	平成27年度から施行している新制度による新たな認可事業である小規模保育事業については、0～2歳児までの保育を実施する第2種社会福祉事業で、3歳児からの受け皿の確保が必要となるものの、認可保育所の3歳児からの受入れについては枠がほとんどないことから、認定こども園での受け入れを進めていく必要がある。 しかし、私立幼稚園の認定こども園化が進まないなか、当面の間は旧制度での私立幼稚園での受け入れを進める必要があるものの、入園料の負担が大きいことから、入園料の一部を助成することで受け入れの促進を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	4	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	1,335	942	4,005							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	0	0	418	402	409						
	総事業費(A+B)		0	0	1,753	1,344	4,414							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	1,335	942	4,414							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	1,335	942	4,414								
財源計(C+D)		0	0	1,335	942	4,414								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	小規模保育事業所卒園児受入私立幼稚園											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	受入施設数	目標値 (単位:箇所)	0.00	16.00	/
			実績値 (単位:箇所)	0.00	4.00		
		達成度(%)		0.0	25.0		
	目標値の積算方法	旧制度の私立幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	235.50	
				一般財源(単位:千円)	0.00	235.50	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	補助対象児童数	目標値 (単位:人)	0.00	33.00
	実績値 (単位:人)			0.00	13.00		
	達成度(%)		0.0	39.4			
	目標値の積算方法	予算積算児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	72.46	
				一般財源(単位:千円)	0.00	72.46	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
実績値 (単位:)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>小規模保育事業所の卒園児が旧制度の私立幼稚園に入園することに対する入園料を助成することで、一定の児童数が私立幼稚園へ入園することにより、待機児童対策に寄与したものとする。</p> <p>今後、連携施設の確保が義務付けられる平成31年度まで事業を継続して実施することが必要であり、複数年での事業実施が必要となる。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	小規模保育卒園児受入臨時助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01418				

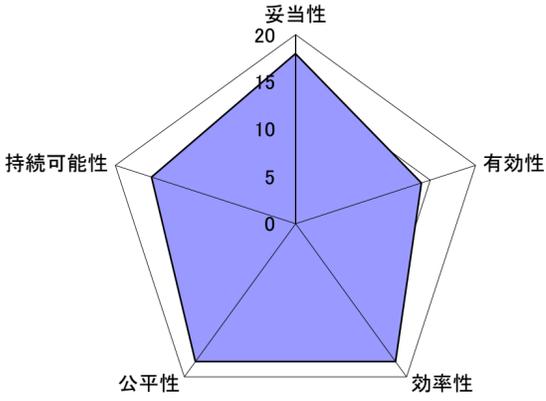
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01418
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業所を卒園した児童の受け入れについては喫緊の課題であることから、旧制度の私立幼稚園に入園した際の入園料を一部助成することにより、3歳児からの受け皿の確保を進めることができる。</p> <p>なお、私立幼稚園の入園枠の確保を行うためには、複数年継続して事業を進める必要があるため、今後、継続して事業を進めていけるかが課題となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	教育・保育施設安全対策助成事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市私立保育所等安全対策事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
			節	1	細節	41								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	教育・保育施設(私立保育所・私立認定こども園・私立幼稚園)の利用児童及び保護者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	教育・保育施設において、不審者の侵入防止及び利用児童の安全確保を図るための警備員等を配置する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	教育・保育施設における安全対策の充実と促進を図ることができる。												
(7) 事業概要	<p>本事業は、平成17年度からの市町村立小学校及び養護学校を対象とした大阪府学校安全総合支援事業補助金の創設と合わせ、地域の実情に応じた本市独自の助成事業として実施しており、市内の教育・保育施設が不審者の侵入防止及び利用児童の安全確保を図るために、正門等における監視や来園者の要件確認及び受付、また緊急時の職員への連絡を行う警備員やシルバー人材センター登録者による安全管理員の配置に係る経費に対して、2分の1を乗じて得た額(開園日数が289日以上であり、かつ1日の開園時間が8時間以上の施設は上限678,000円、それ以外の施設は上限385,000円)を助成する。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	15	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	10,697	10,376	10,688							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	0	0	836	804	817						
	総事業費(A+B)		0	0	11,533	11,180	11,505							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	10,697	10,376	11,505							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	10,697	10,376	11,505								
財源計(C+D)		0	0	10,697	10,376	11,505								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	教育・保育施設											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	実施施設数	目標値	(単位:箇所)	19.00	21.00	21.00
			実績値	(単位:箇所)	21.00	21.00	/	
		達成度(%)			110.5	100.0		
	目標値の積算方法	機械警備以外に人的な安全対策を必要としている施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		494.10
				一般財源(単位:千円)		0.00	494.10	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	不審者の侵入件数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:人)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	不審者等による事故の防止	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 合 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	成果内容としては不審者等による事件の防止を目標値とし、不審者等の侵入件数を指標内容としているが、目標値、実績値ともに0人であり、達成度が正しく反映されないため。			達成状況	不審者等の侵入を未然に防ぐ効果があり、達成している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		保育所等の保護者の関係団体からの要望も強く、地域住民を主体とする見守り事業等への段階的な移行に時間が必要なため、引き続き行政負担により実施する。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	教育・保育施設安全対策助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	1419				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1419
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、関連事業の在り方や地域住民を主体とする見守り事業等への移行を検討しつつ、今後の状況を見ながら、当面の間については行政負担により実施をする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	特定教育・保育施設等運営助成事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市私立特定教育・保育施設等運営助成金要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他										
	対象 (誰を、何を)	範囲等 特定教育・保育施設、地域型保育事業												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	国の子ども・子育て支援交付金等や市の単独補助など、各種事業の経費を助成することで、特定教育・保育施設等における教育・保育内容の充実を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	特定教育・保育施設等の教育・保育内容の充実と乳幼児の福祉の増進を図る。												
(7) 事業概要	<p>国の定める公定価格分以外の経費に係る様々な事業の助成を国及び府の補助を受けて、11時間を超えて保育の実施を行う延長保育を実施するための保育士配置等の経費を助成する「延長保育対策費」など、児童や保育士の処遇改善に対する助成を実施する。</p> <p>また、本市の単独補助では、障がい児等の受入れによる保育士加配等の経費を助成する「発達支援保育対策費」など、児童や保育士の処遇改善に対する助成を実施する。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	15	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	320,441	273,511	313,435							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	0	0	4,176	4,020	4,085						
	総事業費(A+B)		0	0	324,617	277,531	317,520							
	特定財源(C)		0	0	66,198	35,365	57,590							
	(内訳)	国		0	0	46,257	18,538	32,065						
		府		0	0	19,941	16,827	25,525						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	254,243	238,146	259,930							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		0	0	254,243	238,146	259,930						
財源計(C+D)		0	0	320,441	273,511	317,520								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特定教育・保育施設等										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 特定教育・保育施設等助成対象箇所数	目標値	(単位:箇所)	0.00	39.00	47.00	
			実績値	(単位:箇所)	0.00	31.00		
		達成度(%)		0.0	79.5			
	目標値の積算方法	年度当初の特定教育・保育施設等箇所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	8,822.94	7,682.13	
				一般財源(単位:千円)	0.00			
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 私立の特定教育・保育施設等の2・3号認定子ども対象利用児童数 各年度4月1日現在	目標値	(単位:人)	0.00	3,250.00	3,464.00
	実績値			(単位:人)	0.00	3,414.00		
	達成度(%)		0.0	105.0				
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>保護者が要望する特定教育・保育サービスが多様化しているなか、多様な保護者のニーズに応え、私立保育所等が実施する事業を助成し、児童や保育士の処遇改善を行うことで、教育・保育内容の充実と乳幼児の福祉の増進を図ることから、本事業については継続して実施する。</p> <p>また、待機児童解消アクションプランにより、保育士の確保を強力に進めていく必要があることから、新たな事業の実施など、拡充していく必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	特定教育・保育施設等運営助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	1420				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1420
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市は、特定教育・保育の費用として私立保育所や認定こども園・小規模保育事業所・新制度に移行した私立幼稚園へ施設型給付費等を支弁している。しかし、11時間を超えて預かる延長保育など、保護者が要望する特定教育・保育サービスも多様化している。このような保護者のニーズに応え、私立保育所等が実施する事業を助成することで、私立保育所等の利用児童も公立施設と同様のサービスを受けることができる。また、保育所等利用希望者が増加しており、本事業に対する需要は増加傾向にある。そのため、今後も事業費の増大は見込まれるが、それに応じて国・府負担額も増大する。今後も、多様な特定教育・保育のニーズに対応していくため、本事業については継続して実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	施設型・地域型保育給付事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	子ども・子育て支援法第27条													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	特定教育・保育施設、地域型保育事業												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育・保育の実施に係る費用を支弁することにより、特定教育・保育施設等の適正な教育・保育運営を実施してもらう。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	特定教育・保育施設等の適正な教育・保育の実施													
(7)	事業概要	特定教育・保育施設等を利用する児童について、国の公定価格に基づき、教育・保育運営の費用を施設型・地域型保育給付により特定教育・保育施設等へ支弁する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	16	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	4,102,606	3,943,951	4,418,818							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.80	0.80	0.80						
			総額(B)	千円	0	0	6,682	6,432	6,536						
		総事業費(A+B)		0	0	4,109,288	3,950,383	4,425,354							
		特定財源(C)		0	0	2,929,887	2,651,539	2,979,802							
		(内訳)	国		0	0	1,402,567	1,146,277	1,515,687						
			府		0	0	726,801	573,138	789,034						
			その他		0	0	800,519	932,124	675,081						
		市負担(D)		0	0	1,172,719	1,292,412	1,445,552							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	1,172,719	1,292,412	1,445,552								
財源計(C+D)		0	0	4,102,606	3,943,951	4,425,354									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	特定教育・保育施設等へ扶助費により支弁													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 特定教育・保育施設等利用児童数 (各年度4月1日現在)	目標値	(単位:人)	0.00	3,134.00	3,813.00
			実績値	(単位:人)	0.00	3,690.00	
		達成度(%)		0.0	117.7		
	目標値の積算方法	予算積算資料の利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,068.82	350.25
				一般財源(単位:千円)	0.00	350.25	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 特定教育・保育施設等利用児童数 (各年度4月1日現在)	目標値	(単位:人)	0.00	3,963.00
	実績値			(単位:人)	0.00	4,053.00	
	達成度(%)		0.0	102.3			
	目標値の積算方法	特定教育・保育施設等利用児童数+私立の保育施設等を第1希望にしている未利用児童数(4月1日現在)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	973.09	318.88
				一般財源(単位:千円)	0.00	318.88	
	(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	子ども・子育て支援法に基づき、市が特定教育・保育施設等の利用児童に対し、国が定める公定価格に基づいて市から施設等へ支弁する義務がある。 本事業については、私立幼稚園の認定こども園化や保育の確保方策により、今後も事業費が増大していくが、継続して実施することが必要である。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	施設型・地域型保育給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	1421				

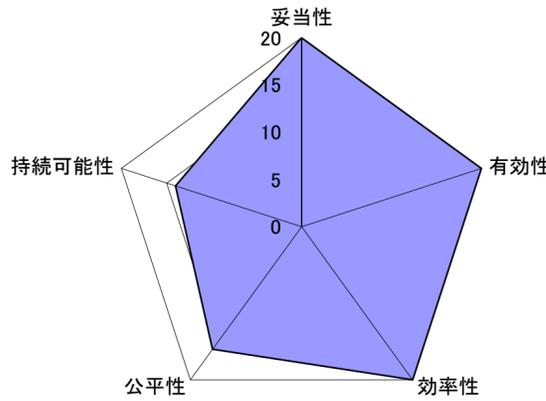
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1421
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>女性の積極的な社会進出や大規模マンション開発などによる人口の流入に伴い、保育所等利用希望者が増加しており、今後もこの傾向は続くと思われる。このことにより施設型・地域型保育給付費の支弁額が増加し、国・府の負担金も増加するが、今後も引き続き継続して実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	保育対策事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	認定こども園も対象施設に追加											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市私立保育所等委託料支給要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市が保育の実施を委託する私立保育所、認定こども園												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	児童の処遇改善を行うにあたり必要とする経費を支弁することにより、私立保育所等の運営と保育内容の充実を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	私立保育所等の利用児童の処遇の改善												
(7) 事業概要	<p>国制度に基づく施設型給付費の公定価格は、最低基準(児童の年齢等から区分される1日11時間の保育費用)から積算されており、実際の保育費用とは乖離しているため、その差を補完する必要がある。また、本事業は施設の利用枠拡大に係る職員人件費についても対象経費として支給しており、待機児童対策にも寄与している。さらに、平成27年度から私立保育所運営費助成事業から給食費助成を移行し、給食対策費を創設し、アレルギー児対応を含めた給食に係る保育内容の充実を図る。これらを目的として、保育対策費を3歳未満児に月額10,000円、3歳以上児に月額5,000円、給食対策費を3歳以上児に月額1,000円支給している。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	16	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		293,383	0	316,226	316,036	325,464							
	人件費	職員数	人	0.25	0.00	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,076	0	2,506	2,412	2,451						
	総事業費(A+B)		295,459	0	318,732	318,448	327,915							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		293,383	0	316,226	316,036	327,915						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		293,383	0	316,226	316,036	327,915								
財源計(C+D)		293,383	0	316,226	316,036	327,915								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	私立保育所、私立認定こども園										
			②											
			③											
	主な委託内容		保育を必要とする児童の保育											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 保育対策費委託保育所等利用児童数 (各年度4月1日現在)	目標値	(単位:人)	3,399.00	3,349.00	42,116.00
			実績値	(単位:人)	3,331.00	3,372.00	
			達成度(%)		98.0	100.7	
	目標値の積算方法	予算積算資料の利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	88.02	93.72	
				一般財源(単位:千円)	88.02	93.72	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 保育対策費委託保育所等利用児童数 (各年度4月1日現在)	目標値	(単位:人)	3,399.00	3,349.00	42,116.00
			実績値	(単位:人)	3,331.00	3,372.00	
			達成度(%)		98.0	100.7	
	目標値の積算方法	予算積算資料の利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	88.02	93.72	
				一般財源(単位:千円)	88.02	93.72	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>国の定める公定価格は、実際の保育費用と乖離しているため、その差を補完することを目的として保育対策事業を支給しており、私立保育所等の保育内容をより充実させるとともに、引き続き利用児童の処遇改善を図るため、本事業を継続する必要がある。また、本事業は施設の利用率拡大に係る職員人件費についても対象経費として支給しており、待機児童対策にも寄与している。</p> <p>なお、府内特例市及び北摂各市においても、同様の目的で同水準の支出を行っている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	保育対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	1422				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1422
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>女性の積極的な社会進出や大規模マンション開発などによる人口の流入に伴い、保育所利用希望者が増加しており、今後もこの傾向は続くと思われる。このことにより保育対策事業の支給額が増加している。また、保育対策事業については施設型給付費と実際の保育費用との差を補完する目的で支出しているものであり、府内特例市及び北摂各市においても同様の支出を行っており、内容も突出したものとはいえない。今後も質の高い保育の実施に必要な事業であることから、本事業については継続して事業を進める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	システム保守事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他										
	対象 (誰を、何を)	範囲等 保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェア												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理によるスムーズな事業の実施												
(7) 事業概要	保育幼稚園室内のサーバ・クライアントシステムのハードウェアの保守・管理やサーバにインストールしている各事業用ソフトウェアの保守・管理についての委託契約を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	16	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	3,962	3,017	3,865							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01						
		総額(B)	千円	0	0	84	81	82						
	総事業費(A+B)		0	0	4,046	3,098	3,947							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	3,962	3,017	3,947							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		0	0	3,962	3,017	3,947						
財源計(C+D)		0	0	3,962	3,017	3,947								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本事務器株式会社等											
			②											
			③											
	主な委託内容		保育幼稚園室内のシステムの保守・管理業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理			目標	システムの大きな障害の発生がないこと。
	②	成果内容	システムの効率的な運用が可能となり、効率的な事務運営ができる。			達成状況	大きな障害が発生しておらず、効率的な事務運営ができています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		保育幼稚園室のサーバ・クライアントによるハードウェアは平成25年度に更新しており、当面の間は、本事業による更新をしていく。 また、各事業のソフトウェアについても継続して実施していくことから、本事業については引き続き実施していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	システム保守事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1423				

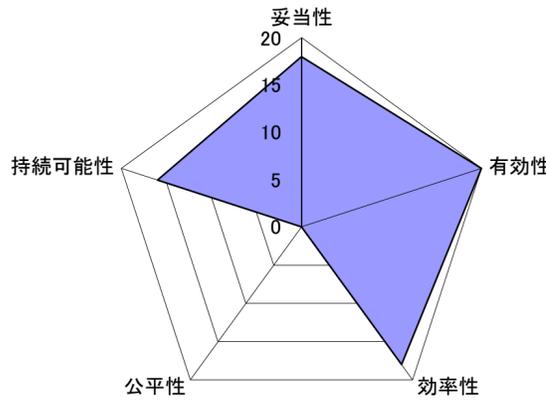
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1423
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育幼稚園室内にあるクライアント・サーバによるシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理については、システムを継続的に安定的に運用するためには必要であることから、本事業については継続して実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	賃貸物件に係る保育所改修等支援事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市借上私立保育所開設準備事業助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他										
	対象 (誰を、何を)	範囲等 賃貸物件の改修により認可保育所の創設を行う株式会社等												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	認可保育所の創設												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	待機児童の解消												
(7) 事業概要	賃貸物件の改修により認可保育所の創設する株式会社等に対し、市が改修費等の一部を助成し、保育所の受け入れ枠の増加を図る。なお、平成27年度は豊津・江坂・南吹田地域で1か所の私立保育所の創設。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	7	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	0	20,250	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	804	0						
	総事業費(A+B)		0	0	0	21,054	0							
	特定財源(C)		0	0	0	18,000	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	18,000	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	0	2,250	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		0	0	0	2,250	0						
財源計(C+D)		0	0	0	20,250	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	① 株式会社セリオ											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 私立保育所の箇所数 (私立保育所から移行した認定こども園を含む)	目標値	(単位:箇所)	28.00	28.00	31.00	
			実績値	(単位:箇所)	28.00	29.00		
			達成度(%)		100.0	103.6		
	目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく確保が必要な私立保育所の箇所数(私立保育所から移行した認定こども園を含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	698.28	
				一般財源(単位:千円)		0.00	77.59	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容 保育所利用児童数(翌年4月1日現在)	目標値	(単位:人)	5,379.00	5,399.00	5,479.00	
			実績値	(単位:人)	5,775.00	6,085.00		
			達成度(%)		107.4	112.7		
	目標値の積算方法	増加定員の2/3の利用児童数増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	3.33	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.37	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成29年度までに待機児童を解消するための確保方策を策定し、計画的に私立保育所等の創設を進めていく必要があることから、待機児童解消アクションプランにより、本事業による保育所等の改修を進め、待機児童の解消を進めていく。					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	賃貸物件に係る保育所改修等支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	1425				

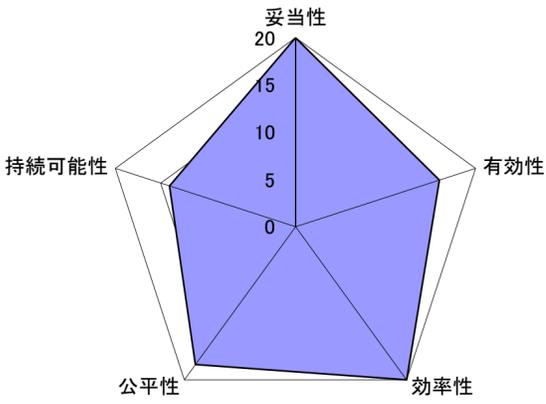
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1425
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画的な私立保育所等の整備を進めることで、利用児童数の増加を促し、待機児童数の減少が見込めるため、賃貸物件に係る保育所改修等支援事業については待機児童対策としての効果があり、一定の成果を挙げているところである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	子ども・子育て支援システム						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	子ども・子育て支援システムをマイナンバー制度に対応させる。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	子ども・子育て支援システムをマイナンバー制度に対応させることにより、スムーズなマイナンバー制度に基づく業務が行えるようになる。							
(7)	事業概要	マイナンバー制度に対応した子ども・子育て支援システムの改修を進めていけるよう、委託契約を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	7,560	5,411	6,354	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	7,560	5,411	6,354	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	7,560	5,411	6,354	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	7,560	5,411	6,354		
財源計(C+D)		0	0	7,560	5,411	6,354			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日本事務器株式会社				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	マイナンバー制度に対応するための子ども・子育て支援システムの改修を実施する。		目標	国が定めたスケジュールまでにシステム改修を実施していく。	
	②	成果内容	マイナンバー制度対応のシステム構築により、マイナンバー制度の業務をシステムにより処理することが可能となり、効率的な業務の運営が可能となる。		達成状況	2か年事業としての1か年目部分についてのシステム改修が行われた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		マイナンバー制度実施のため、子ども・子育て支援システムの改修を行うが、子ども・子育て支援新制度に係る国のスケジュールが遅いため、2か年により本事業を実施する必要があることから、平成28年度まで本事業を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1494				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1494
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	2	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	2														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>マイナンバー制度に対応するため、保育幼稚園室内のサーバにあるソフトウェアの「子ども・子育て支援システム」を改修し、マイナンバー事務を効率的に運用していく。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	システム改修事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	西村 直樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム等						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設により、スムーズな業務の履行が可能になる。							
(7)	事業概要	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設のため、委託契約等を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	11,098	11,504	13,419	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	11,098	11,504	13,419	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	11,098	11,504	13,419	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	11,098	11,504	13,419		
財源計(C+D)		0	0	11,098	11,504	13,419			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日本事務器株式会社等				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	各制度改正等に対応するため、保育幼稚園室内のハードウェアの更新・増設やソフトウェア等を改修を実施する。			目標	各制度改正のスケジュールまでにシステム改修を実施していく。
	②	成果内容	各制度改正等に対応することで、効率的な事務運営が可能になる。			達成状況	全ての業務に対してシステム改修が行われた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設については、制度改正等により、必要の都度、実施していくことから、継続して事業を実施する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園課	事業名	システム改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1495				

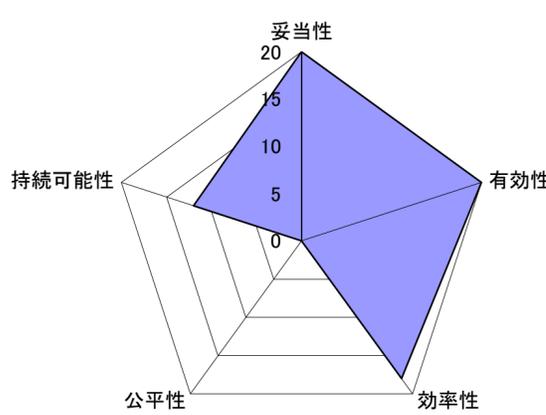
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保育幼稚園課	事務事業番号	1495
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新たな制度改正等に対応するため、保育幼稚園室内のサーバにあるソフトウェア等を改修し、制度改正後の事務を効率的に運用していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)